

会津大学短期大学部



研究シリーズ集 2023

会津大学短期大学部は 2021 年で 70 周年を迎えました

会津大学短期大学部地域活性化センター

「会津大学短期大学部研究シーズ集」更新にあたって

本学は開学以来、地域社会の経済文化の向上を設立使命とし、研究教育に加え、地域研究、公開講座による地域の生涯学習の充実を図るなど知識基盤社会の形成に努力してまいりました。2006年に公立大学法人となり、2007年には、福島県の地域資源を活かした地域活性化を積極的に展開していく組織として、会津大学短期大学部地域活性化センターを開設いたしました。2012年には、東日本大震災とそれに伴う原子力災害からの復旧・復興が喫緊の課題となっていたことから「地域貢献に関する基本方針」を決定して本学の地域連携に向けた姿勢を明らかにするとともに、当センターを中心に、地域や地域団体と連携を図り、複雑・多様化する地域課題に、これまで以上に組織的かつ積極的に取り組んでいくことといたしました。

本学には産業情報学科（経営情報コース、デザイン情報コース）、食物栄養学科並びに幼児教育・福祉学科があります。当センターは、本学の産業、経営、デザイン、情報、栄養、食品、幼児教育、保育、福祉等くらしに密着した幅広い特色ある専門領域群を活かし、大学と地域社会が連携・共同して課題に取り組むことにより活力ある地域社会を創造することを目指しております。若い学生たちの気づきやユニークなアイデアも活用しながら多様なシーズと地域社会のニーズを融合し、新しい価値観、地域産業、地域社会を創造していきたいと考えております。

2023年4月1日

地域活性化センター長 柴崎恭秀

共同研究、受託研究、奨学寄附金及び技術相談等のお問い合わせについて

会津大学短期大学部との共同研究、委託研究、奨学寄附金、技術相談等につきましては、
本研究シーズ集をご覧ください、地域活性化センターにお問い合わせください。

本研究シーズ集に記載のない分野についても応じられる場合がございますのでお気軽に
お問い合わせください。

※ 会津大学短期大学部の研究シーズ

研究シーズとは科学技術研究の種(Seeds)、つまり将来花咲き実を結ぶ可能性の高い
研究をさします。会津大学短期大学部では、産業情報(経営情報・デザイン情報)、食物
栄養、幼児教育・福祉などの分野においてさまざまな研究を推進しており、そこで生ま
れた研究成果をわかりやすくまとめ、本学の「知」を産業界や地域・社会に還元するこ
ういう目的から「研究シーズ集」として公開しております。

お問い合わせ先

公立大学法人会津大学短期大学部 地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1 - 1

T e l : 0242-23-7034 F a x : 0242-37-2412

e-mail:chiiki@jc.u-aizu.ac.jp

<https://www.jc.u-aizu.ac.jp/>



目 次

1 産業情報学科

(1) 経営情報コース

平澤 賢一	(ヒラサワ ケンイチ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	1
中澤 真	(ナカザワ マコト)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	3
木谷 耕平	(キヤ コウヘイ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	7
八木橋 彰	(ヤギハシ アキラ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	9
加藤 秋人	(カトウ アキト)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	11

(2) デザイン情報コース

井波 純	(イナミ ジュン)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	13
柴崎 恭秀	(シバサキ ヤスヒデ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	15
高橋 延昌	(タカハシ ノブマサ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	17
横尾 誠	(ヨコオ マコト)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	19
沈 得正	(シム テークチン)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	21
北本 雅久	(キタモト ガク)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	23

2 食物栄養学科

左 一八	(ヒダリ カズヤ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	25
宮下 朋子	(ミヤシタ トモコ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	32
鈴木 秀子	(スズキ ヒデコ)	教 授	・ ・ ・ ・ ・	35
武井 利之	(タケイ トシユキ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	38
漆谷 博志	(ウルシタニ ヒロシ)	准 教 授	・ ・ ・ ・ ・	40
加藤 亮	(カトウ マコト)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	43
小林 未希	(コバヤシ ミキ)	講 師	・ ・ ・ ・ ・	45
阿部 桂子	(アベ ケイコ)	助 手	・ ・ ・ ・ ・	47

目 次

2 食物栄養学科

水尾 和雅	(ミズオ カズマサ)	助 手	49
山岡 伸	(ヤマオカ シン)	助 手	51

3 幼児教育・福祉学科

市川 和彦	(イチカワ カズヒコ)	教 授	53
郭 小蘭	(カク ショウラン)	教 授	56
河原田 潤	(カワラダ ジュン)	教 授	59
若林 達司	(ワカバヤシ タツジ)	教 授	61
木村 淳也	(キムラ ジュンヤ)	准 教 授	63
吉田 亜矢	(ヨシダ アヤ)	講 師	65
渡部 琢也	(ワタナベ タクヤ)	講 師	67
佐々木誠二	(ササキ セイジ)	講 師	71
葉山 亮三	(ハヤマ リョウゾウ)	講 師	73
高田 正哉	(タカタ マサヤ)	講 師	75

キーワード索引

学科・コース名	教員名	キーワード	ページ
1 (1) 産業情報学科経営情報コース	平澤 賢一	外資系企業・人事部・HRM・人事制度・ダイバーシティマネジメント	1
	中澤 真	ICT教育、データ分析、データマイニング、テキストマイニング、ネットビジネス	3
	木谷 耕平	幸福度、生活満足度、地域経済、財政	7
	八木橋 彰	小売マーケティング、買物弱者問題、地方創生、まちづくり、中心市街地活性化、地域資源のブランディング	9
	加藤 秋人	製造業、中小企業、企業間連携、企業間ネットワーク、産学官連携、地域産業	11
1 (2) 産業情報学科デザイン情報コース	井波 純	漆、轆轤、工芸美術、木地	13
	柴崎 恭秀	建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり	15
	高橋 延昌	P Rデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット	17
	横尾 誠	ウェブ、画面、インターフェース、インタラクション、エクスペリエンス	19
	沈 得正	デザイン思考、家具デザイン、生活用具デザイン、商品デザイン、CAD・CAM	21
	北本 雅久	グラフィックデザイン、ポスター、ロゴ、校章、フライヤー（チラシ）、パンフレット、パッケージ、広報物、展示企画、ワークショップ	23
2 食物栄養学科	左 一八	糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、抗糖鎖単クローン抗体、機能性食品、地域伝統食材	25
	宮下 朋子	嚥下困難者用食品、自然薯、気泡含有食品、ゼラチン、高齢者用とろみ剤	32
	鈴木 秀子	食をとおした子育て・子育て、食育推進計画、食育プログラム、食をとおした健康づくり・地区組織育成	35
	武井 利之	ペクチン、ヘミセルロース、オリゴ糖、がん細胞、アポトーシス誘導、放射性セシウム	38
	漆谷 博志	内分泌、内分泌攪乱化学物質、性ホルモン、水生動物	40
	加藤 亮	栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量	43
	小林 未希	食生活、腸活、災害食	45
	阿部 桂子	離乳食、親子料理教室、オーガニック給食、食品ロス	47
	水尾 和雅	卵、乳化性、料理教室	49
	山岡 伸	食成分、動物実験、ストレス、栄養価算出、戦国時代、江戸時代、酸化ストレス	51
3 幼児教育・福祉学科	市川 和彦	施設内虐待、行動障害、怒り、障がい児、障がい者、触れる関わり	53
	郭 小蘭	子どもに対する接し方	56
	河原田 潤	音楽、音楽理論、合奏	59
	若林 達司	英語、文学、教育、発音、文法、読解、イギリス社会	61
	木村 淳也	援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働	63
	吉田 亜矢	子育て支援、保育相談、発達相談	65
	渡部 琢也	体力、体格・運動能力、幼児、児童、高齢者、競技スポーツ、発育発達、体組成、サルコペニア	67
	佐々木誠二	ソーシャルワーク、チームアプローチ、権利擁護、多機関連携	71
	葉山 亮三	造形教育、ワークショップ	73
	高田 正哉	教育学、哲学、教育哲学、メディア論、カルチュラル・スタディーズ	75

産業情報学科 教授 博士（学術）

ヒラサワ ケンイチ

平澤 賢一

○所属学会・協会 / 日本経営学会、日本労務学会、国際ビジネス研究学会、異文化経営学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 経営学（国際経営論）

これまでの研究

- 1 人材マネジメント（外資系企業のHRM、障害者雇用）
- 2 国際経営（外資系企業を事例として）
- 3 上場企業IR（投資家向け広報）部門の社外対応
- 4 金融・証券教育

●現在の研究テーマおよび概要

『上場企業IR部門における社外対応活動』

- 1 上場企業のIR（投資家向け広報）部門を対象とした継続的な実態調査を踏まえて、社外対応活動の実務とその効果を明らかにする。
- 2 『地域中小企業に共通する経営理念』

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 組織・人事制度改革
- 2 ダイバーシティ & インクルージョン

キ ー ワ ー ド ： 外資系企業・人事部・HRM・人事制度・ダイバーシティマネジメント

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 「経営の財務」『経営学講義』（中央経済社）
- 2 「銀行の海外経営と公式化の意義」『経営の国際開発に関する研究』（多賀出版）

〔 論文 〕	
1	「上場企業IR部門の社外対応と企業業績―日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として―」 『経営学論集第88集』（日本経営学会編、千倉書房）
2	「上場企業IR部門における社外対応活動 ―日経225構成銘柄企業の実態調査を中心として―」『会津大学短期大学部研究紀要第74号』＜大橋良生氏と共著＞
3	「米系企業と欧州系企業の人事部比較」『日本労務学会第36回全国大会論集』
4	「外資系企業人事部の役割と意思決定プロセス」『日本労務学会第34回全国大会論集』
5	「外資系銀行人事部の役割」『経営学論集：21世紀経営学の課題と展望』（日本経営学会編・千倉書房）
〔 社会的活動 〕	
1	喜多方市水道事業経営等審議会(2023～)
2	喜多方市行政改革推進委員会(2004～現在)
3	会津若松市廃棄物処理運営審議会(2020～現在)
4	会津若松市外部評価委員会(2019～2022)
5	喜多方市環境審議会(2015-2017)
6	福島県立若松商業高等学校学校評議員（2007-2013）
7	福島県県立病院事業経営評価委員会（2007-2009）
8	65歳雇用導入プロジェクト事業継続雇用達成会議(2005-2007)

産業情報学科 教授 修士（工学）

ナカザワ マコト

中澤 真

○所属学会・協会 / 情報処理学会，IEEE（The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.） ，
ACM（Association for Computing Machinery）

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 知識情報処理（人工知能・機械学習），教育工学，計算量理論
これまでの研究
1 知識情報処理技術を応用した効率的なデータ圧縮法
2 人工知能における，漸近的計算限界の解明
3 地域情報データベースの構築
●現在の研究テーマおよび概要
1 プログラミング教育を中心とした情報教育の学習履歴分析
2 子ども向け・大学向け・企業向けのICTを活用した学習システムについて
3 統計的アプローチによるクチコミ・各種データ分析
●相談に応じられる分野・キーワード
1 初等教育向けプログラミング教育の実践と支援
2 ICTを活用した授業実践指導，ITC教育支援
3 テキストマイニング・データマイニングなどのデータ分析手法の活用支援
4 ICTを活用した業務効率化の支援
キ ー ワ ー ド ： ICT教育、データ分析、データマイニング、テキストマイニング、ネットビジネス

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[外部資金獲得状況]	
1	科学研究費補助金－基盤研究（B） 「言語学習を対象とした学習状態把握による個別最適化学習システムの開発」 2022-2025
2	科学研究費補助金－挑戦的研究（萌芽） 「ビジュアル型言語とテキスト型言語の学習状況の分析によるシームレスな移行の実現」 2021-2023
3	科学研究費補助金－基盤研究（C）代表 「小学校プログラミング教育のための学習履歴に基づくリアルタイム授業支援システム」 2020-2023
4	科学研究費補助金－基盤研究（B） 「言語学習を対象とした時空を越えて相手を感じられる自学自習システムの開発」 2019-2022
5	会津大学競争的研究費「学校教育を支援する地方公立短大の在り方に関する調査研究： Moodleを活用した学習支援プラットフォームの構築」 2021
6	会津大学競争的研究費「幼児教育学科における保育者養成・専門教育科目「絵本学入門」の提案」 2020
7	科学研究費補助金－基盤研究（C）代表 「プログラミング学習時の小学生の思考プロセスの解析とこれに基づく教育支援システム」 2017-2021
8	科学研究費補助金－基盤研究（C）代表 「コンテキストアウェアネスを活用した学習者行動モデルと学習支援環境の開発と実証」 2014-2018
9	科学研究費補助金－基盤研究(C) 「クラウドコンピューティング環境による次世代eラーニングスタイルに関する研究開発」 2011-2014
10	科学研究費補助金－基盤研究（B） 「グローバル・リテラシー大学英語教育のモデル化と自動成果判定システムの開発」 2012-2013
[論文]	
1	"Brain Wave, Heart Rate, and Facial Expression Relationship Validation During Programming Learning Comprehension Study", Communications in Computer and Information Science, Springer Nature, pp. 523-535, 2023.
2	"Research Results on System Development of the Research Project of a Self-Study System for Language Learning", IEEE EDUNINE, pp. 13-16, 2022.
3	"Learning-State-Estimation Method Using Browsing History and Electroencephalogram During Programming Language Learning and Its Evaluation", CCIS, vol.1344. Springer, pp. 40-55, 2021.
4	"Development of problem extraction tool for debugging practice using learning history", Proceeding of the 17th Annual Hawaii International Conference on Education , 2019.
5	"On the Influence of Network Quality upon International Distance Learning", 2018 International Conference on Big Data and Education (ICBDE 2018) , 2018.
6	"Scratchを用いたプログラミング学習時の閲覧履歴・編集履歴・脳波履歴を組み合わせた学習者分析", 情報処理学会 コンピュータと教育（CE）,2017-CE-138(1),pp.1-6, 2017.
7	"A Method based on Self-study Log Information for Improving Effectiveness of Classroom Component in Flipped Classroom Approach", International Journal of Software Innovation , Volume 4, Issue 2, 2016.
8	"Learning Styles for e-learning Systems over Virtual Desktop Infrastructure," Proc. of the 2014 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, pp.3248-3253, 2014

9	"The Influence of QoS on e-Learning Environment under Virtual Desktop Infrastructure", 5th International Conference on Communications, Computers and Applications, pp. 30-34, 2012.
10	"地方大学における遠隔講義の実践とその可能性について", 会津大学短期大学部 研究紀要 第69号, 2012.
11	"仮想化デスクトップによるeラーニングシステムにおける通信品質が与える影響について", 日本e-Learning学会, 2011年度学術講演会, 2011
12	"授業における円滑なコミュニケーション支援のためのLMSの活用について", 会津大学短期大学部 研究年報 第66号, 2009
13	"遠隔講義における双方向コミュニケーションについての課題とその解決に向けて", 会津大学短期大学部 研究年報 第63号, 2006.
14	"インターネットを用いた大学間連携による遠隔授業の開発と評価", 武蔵工業大学 環境情報学部 情報メディアセンタージャナル, 第7号, 2006.
[特許]	
1	分析システム及び分析方法（特許取得：特許第7057566号）
2	プログラミング学習における進捗分析システムおよびその方法（出願番号：特願2021-035852）
3	問題提示装置、問題提示システム、問題提示方法、及び問題提示プログラム（出願番号：特願2018-192160）
4	学習支援システム、学習支援装置および学習支援方法（出願番号：特願2017-017634）
5	eラーニングシステム及びeラーニング用プログラム（出願番号：特願2015-073652）
[受賞]	
1	IEEE World Engineering EducationConference（EDUNINE2022）Best Paper Award 受賞
2	第77回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2015
3	第74回情報処理学会全国大会 大会優秀賞受賞 2012
[社会的活動]	
1	早稲田大学理工学研究所 特別研究部会「次世代eラーニングに関する研究」メンバー
2	会津若松市 みらいづ探究ラボ 審査委員
3	大熊町未来教育会議 委員
4	会津若松市 ICT教育支援業務委託プロポーザル選考委員会委員長
5	「Pepper社会貢献プログラム」スクールチャレンジコンテスト（大熊町）審査委員長

6	一箕小学校との連携事業「初等教育向けプログラミング授業」
7	第77回情報処理学会全国大会「次世代eラーニング研究シンポジウム ～新たなICT活用による学びの変革～」パネリスト
8	山形市立商業高校との高大連携事業 遠隔講義 「Webビジネスの可能性」「やさしい暗号のはなし」など

経営情報学科 准教授 博士（経済学）

キ ヤ コ ウ ヘ イ
木谷 耕平

○所属学会・協会 / 日本財政学会、日本経済学会、行動経済学会、日本社会関係学会、アメリカ経済学会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 財政学、幸福の経済学、地域経済学
これまでの研究
1 主観的効用（幸福度や生活満足度）の決定要因に関する研究
2 地域間の人口移動に関する研究
3 ソブリン格付けと経済活動に関する研究
●現在の研究テーマおよび概要
1 税や政府支出に対する人々の選好についての研究 どのような税や政府支出を人々は好み、それは個人の属性によってどう異なるのかを実証的に研究
2 財政赤字の要因に関する主観的効用を用いた研究 財政赤字の要因と考えられる財政錯覚や世代間の選好の違いについて、主観的効用を用いて実証的に研究
3 地域経済と地域間人口移動に関する研究 特に北海道の地域経済と人口移動について、その動向や変化の要因について実証的に研究
4 コロナ禍の影響に関する研究 コロナ禍が人々の幸福度や生活満足度にどのような影響を与えたのか、実証的に研究
●相談に応じられる分野・キーワード
1 幸福度や生活満足度の分析・活用方法について
2 政策効果の検証について
3 地域経済の現状分析の方法について
キ ー ワ ー ド ： 幸福度、生活満足度、地域経済、財政
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）
[著書]

1	宇都宮仁・米本清編『経済学入門』、(株) みらい、2018年. (第2章 消費者の行動)
[論文]	
1	「札幌市への人口移動要因に関する実証研究」『旭川大学経済学部紀要』(旭川大学経済学部)、第79・80合併号、2021年3月.
2	「旭川市地域分析のための産業連関表の作成とその活用」『旭川大学地域研究所年報』(旭川大学地域研究所)、第38・39合併号、2018年3月. (共著)
3	「旭川におけるスポーツ人材の育成と地域活性化：道産子メソッドによるサッカー人材育成のモデル化」『旭川大学地域研究所年報』(旭川大学地域研究所)、第38・39合併号、2018年3月. (共著)
4	「ソブリン格付けの影響に関する先行研究レビュー」『国際学研究』(関西学院大学国際学部)、第6巻3号、2017年3月.
5	「財政と幸福度の関係を巡る研究の現状と今後の展望」『旭川大学経済学部紀要』(旭川大学経済学部)、第75号、2016年3月.
6	"Essays on Life Satisfaction and Public Finance," 博士論文 (University of Washington, Seattle WA) , June 2013.
7	"Life Satisfaction and Public Finance: Empirical Analysis Using U.S. Micro Data," SSRN Working Paper, August 2012, No. 2126357.
[社会的活動]	
1	会津若松市中小企業・小規模企業未来会議座長 (2022年6月-現在)
2	地域福祉計画等推進会議座長 (2022年10月-現在)
3	喜多方市工場等立地促進審議会委員 (2023年3月-現在)
4	旭川市観光振興条例検討部会委員 (2021年2月-2022年3月)
5	旭川市総合戦略検討懇談会委員 (2020年6月-2022年3月)
6	旭川市総合計画審議会委員 (2017年9月-2019年12月)
7	旭川市中小企業審議会働き方改革検討部会委員 (2017年4月-2018年3月)
8	旭川商工会議所「旭川成長戦略ビジョン」・「アクションプラン」作成ワーキンググループ座長 (2016年2月-2019年1月)

産業情報学科 准教授 修士（商学）

ヤ ギ ハ シ ア キ ラ
八木橋 彰

○所属学会・協会 / 日本商業学会、日本消費者行動研究学会、日本地域政策学会、

スポーツ・マネジメント学会

●専門分野とこれまでの研究	
専 門 分 野 ： マーケティング論、流通論、消費者行動論	
これまでの研究	
1	買物行動の多様化に関する研究
2	買物弱者問題に関する研究 商業統計や国勢調査などのマクロ・データを用いた検討 中心市街地などの政策的視点からの検討
●現在の研究テーマおよび概要	
1	まちづくり政策の政策効果・評価に関する研究 まちづくり政策の政策効果をマクロ・データを用いた分析や個別事例の視点から検討
2	SNSを活用した地域資源のブランディング
3	スポーツを起点とした地方創生・地域活性化の研究 スポーツビジネス、スポーツ・ツーリズムによる地域への経済効果や地域活性化の可能性について検討
●相談に応じられる分野・キーワード	
1	小売業の流通・販売戦略（インターネット販売、実店舗販売、宅配サービス・ロジスティクスなど）
2	買物弱者問題へのアプローチ（中心市街地活性化、移動販売など）
3	まちづくりへのアプローチ（中心市街地活性化、グリーン・ツーリズム、スポーツ・ツーリズム、フード・ツーリズム、イベント、ブランディング、SNSの活用など）
キ ー ワ ー ド :	小売マーケティング、買物弱者問題、地方創生、まちづくり、中心市街地活性化 地域資源のブランディング
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[論文]	
1	「マルチチャネル・ショッピングの進展がもたらす購買意思決定の多様化に関する実証研究」『慶應義塾大学商学研究科』（修士論文）,2010年.

2	「小売業の効率性追求による買物環境へのインパクト」『経済活動のグローバル化と社会』（慶應義塾大学大学院商学研究科 2010年度 大学院高度化推進研究プロジェクト）,2011年,143-153頁.
3	「買物行動の多様化に関する実証研究」『慶應商学論集』（慶應義塾大学大学院商学研究科）,2012年,27-45頁.
4	「飲食料品取扱い小売業の供給体制に関する理論的考察—小売主導型SCMに着目して—」『会津大学短期大学部研究紀要』,2015年,43-53頁.
5	「小売構造研究の再検討」『会津大学短期大学部研究紀要』,2016年,101-122頁.
6	「消費者を取巻く買物環境と中心市街地活性化政策に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2017年,95-120頁.
7	「コンビニエンス・ストアの出店活動と物流システムに関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2019年,83-105頁.
8	「スポーツマーケティング研究の多様化に関する考察」『会津大学短期大学部研究紀要』,2019年,107-123頁.
9	「地域資源の融合とICTを活用したブランディング—地方創生に向けたSNSの活用—」『会津大学短期大学部研究紀要』,2020年,43-58頁.
10	「人口減少社会における中心市街地の役割—会津若松市大町通りで実践活動より—」『日本地域政策研究第30号』（連載 研究と政策の現場から）,2023年,104-105頁.（招待）
[社会的活動]	
1	河東・北会津地域づくり委員会アドバイザー（2013～2014）
2	会津若松市「買い物弱者対策地域協議会」座長（2014～2015）
3	地域産品ブランド認定審査委員会アドバイザー（2014）
4	地域産品ブランド認定審査委員会委員長（2014～継続中）
5	会津若松市「農村活性化プロジェクト支援事業認定審査会」委員（2014～継続中）
6	会津若松市「行政提案型協働モデル事業」（2014～2016）
7	会津若松市「会津都市計画事業扇町土地区画整理審議会」委員（2014～継続中）
8	会津若松市「ふるさと納税返礼品発送業務委託プロポーザル」委員（2014～2022）
9	喜多方市「総合計画審議会」委員（2021～継続中）
10	会津若松市「基幹集落センター指定管理者候補者審査委員会」委員長(2022)

産業情報学科 准教授 博士（学術）

カ ト ウ ア キ ト

加藤 秋人

○所属学会・協会 / 経済地理学会、日本地域経済学会、工業経営研究学会、日本経営学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 経済地理学，人文地理学，中小企業論，地域経済論

これまでの研究

- 1 京都・四日市・諏訪地域における試作品開発・生産に向けた中小企業の実践
- 2 神戸・島根地域等における航空機産業参入に向けた中小企業による企業間連携の実践
- 3 東京都大田区における「下町ボブスレープロジェクト」を通じた中小企業ネットワーク再構築に関する研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 産業集積地域における企業間ネットワークの再構築
- 2 航空宇宙産業・ドローン産業参入に向けた中小企業の連携

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 製造業中小企業の企業間連携
- 2 地域産業活性化に資する産学官連携の構築

キ ー ワ ー ド ： 製造業，中小企業，企業間連携，企業間ネットワーク，産学官連携，地域産業

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 青山裕子・マーフィー，J. T. ・ハンソン，S. （著）小田宏信・加藤秋人・遠藤貴美子・小室 譲（訳）（2014）：『経済地理学キーコンセプト』，古今書院．（共訳）
- 2 北嶋 守・井上弘基・太田志乃・井高章子・加藤秋人（2016）：『日本の機械産業2016ー日本版Industry4.0に向けて模索する日本のモノづくりー』，一般財団法人機械振興協会経済研究所．（共著）
- 3 北嶋 守・井上弘基・太田志乃・井高章子・加藤秋人（2017）：『日本の機械産業2017ーAIの急速な普及時代における日本のモノづくりー』，一般財団法人機械振興協会経済研究所．（共著）

4	北嶋 守・井上弘基・太田志乃・井高章子・加藤秋人（2018）：『日本の機械産業2018—新たな牽引型産業の創造が急がれる日本のモノづくりー』，一般財団法人機械振興協会経済研究所．（共著）
[論文]	
1	加藤秋人（2017）：中小企業のネットワーク化を通じた航空機産業クラスターの展開—神戸航空機クラスター研究会を事例として—，『機械経済研究』48：41-53.
2	加藤秋人（2018）：産業集積地域におけるネットワーク化を通じた企業間連携に関する研究動向と一考察，『機械経済研究』49：33-58.
3	加藤秋人（2020）：試作関連ネットワークの形成を通じた機械工業集積の維持・強化—京都と四日市の地域間比較を通じて—，『地理学評論』93：276-296.
4	加藤秋人（2023）：産業集積地域における企業間ネットワークを活用した集積機能の再活性化に関する研究（東京大学博士論文），東京大学大学院総合文化研究科.
[社会的活動]	
1	「広域関東圏における主要産業集積地域の構造変化と将来の発展方向に関する調査研究委員会」委員（平成27年4月～平成28年3月）
2	「航空機産業クラスター形成と地域中小企業の発展戦略に関する調査研究委員会」委員（平成30年4月～平成31年3月）
3	大口町まちづくり活動促進委員（令和3年4月～令和5年3月）
4	犬山市産業振興会議委員（令和3年8月～令和5年7月）
5	「犬山市史編さん委員会」専門部会調査執筆委員（令和4年4月～令和5年3月）

産業情報学科 教授 美術修士

イ ナ ミ ジュン

井波 純

○所属学会・協会 / 日本文化財漆協会、（社）日本漆工協会、地域活性学会、世界漆文化会議

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 漆工芸全般

これまでの研究

- 1 作品の制作を通し、新たな漆芸表現の可能性についての研究し作品発表を行う。
- 2 広島、鳥取、岡山、島根、山口における木地轆轤文化の調査研究
- 3 チベット、タイ、ミャンマー、中国、韓国、台湾などアジアにおける漆文化の調査研究
- 4 オランダ、スペイン、ポルトガルにおいて中世から近世にかけての輸出漆器に対する現地研究調査
- 5 東日本大震災にて被災した民俗文化財（南相馬の神楽獅子頭・雄勝桑浜の神輿）の修復

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 漆芸教育美術系大学と連携した、会津から全国に発信する漆文化の新たな可能性についての研究と提案
- 2 会津若松市主催「まちなかアートプロジェクト」による地域の文化資源の活用・継承・発展を基軸とした漆の可能性について研究
- 3 新しい漆芸品の開発に対する研究：美術大学、産地技術者等と連携し、あらたなモノづくりに向けた提案を行う。
- 4 各展覧会での作品発表 各地で開催される公募展等に研究作品を出品する。

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 漆工芸全般について（漆の性質、制作技法、漆装飾表現等）
- 2 アジアの漆文化について
- 3 漆工芸品および文化財（漆工）の修理・修復について

キ ー ワ ー ド ： 漆、轆轤、工芸美術、木地

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 作品発表 〕	
1	『Prayer』“Asian Lacquer Art Exhibition in Cambodia”アジア漆工芸学術支援事業。カンボディア、シェムリアップにて開催された国際交流展に招待出品（2019年）
2	『静域』 「2018中国福建省福州国際漆芸双年展」において、招待作家作品として制作出品
3	『会津・只見号 漆塗りSLヘッドマーク』 JR東日本企画による特別列車（SL会津只見号）のヘッドマークを日本で初めて漆で制作し、装飾技法に会津漆器の伝統技法（朱磨き）を用いた。（2010年）
4	『CORE』 「岡本太郎の博物館・はじめる視点～博物館から覚醒するアーティストたち～」展 福島県立博物館主催にて乾漆造形作品を制作展示（2009年）
5	『静境』 第42回東北現代工芸美術展において第一席「河北新報賞」受賞（2018年）
〔 著書 〕	
1	アジアのうるし・日本の漆（共著・東京美術・1996）
〔 論文 〕	
1	轆轤文化の調査研究－中国地方の轆轤文化と技術を中心に－(広島市立大学特定研究 2008)
〔 社会的活動 〕	
1	日本文化財漆協会理事(2006～)
2	（社）日本漆工協会会員
3	会津工芸新生会理事(2007～)
4	喜多方市美術館「公募・ふるさとの風景展」審査委員(2009～)
5	会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」総合アドバイザー(2013～2022)

産業情報学科 教授 芸術学修士

シバサキ ヤスヒデ

柴崎 恭秀

○所属学会・協会 / 日本建築学会、こども環境学会、日本建築仕上学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 建築計画、建築設計、地域計画、アート計画

これまでの研究

- 1 公共施設・キャンパス・住宅の計画・設計
- 2 応急仮設住宅の計画・研究、まちづくりの研究
- 3 地域材の活用研究、民家・街並み研究 等

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 地域アートプロジェクトの計画
地域で行われるビエンナーレ、トリエンナーレなどのアート計画・会場構成など
- 2 木造住宅における矩計等ディテールに関する研究
木造住宅のディテールについて、矩計図を主とした従来工法と最新工法の比較や地域性についての研究
- 3 杉間伐材を用いた住宅の新構法の研究
県産杉間伐材を用いた積層パネル構法・新講法について研究し地域材のさらなる活用を検討する。
- 4 CLT等の汎用モデル研究、NCフライスを活用した建築モデルの研究
- 5 民家の分布研究、民家のディテール研究、街並み形成研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 建築計画・設計に関する全般
- 2 アートプロジェクト・アート計画
- 3 地域計画・まちづくり
- 4 リノベーション、建物・街並み保存等

キ ー ワ ー ド ： 建築計画、建築設計、アート計画、地域計画、まちづくり

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 著書 〕	
1	「まちを再生する 99 のアイデア」著書（彰国社・2012）
2	「仮設住宅アーカイブス－福島の応急仮設住宅(Archives of Temporary Housing Units in Fukushima Built for Evacuees of the Great East Japan Earthquake)」平成25年度会津大学競争的研究費(復興枠)研究助成
〔 論文 〕	
1	Wiley Online Library,Article: INAWASHIRO GALLERY - Reconstruction of dozo (warehouse made of soil) destroyed by the Great East Japan Earthquake -
2	旧街道における街並み保存と景観形成に関するデザイン研究－「民家は生きてきた」再見を通して－
〔 社会的活動 〕	
1	福島大学芸術による地域創造研究所プロジェクト客員研究員
2	会津若松市景観審議会会長
3	ふくしま住宅建築賞選考委員長
4	会津図書館協議会会長 等

産業情報学科 教授 デザイン学修士

タカハシ ノブマサ

高橋 延昌

○所属学会・協会 / 日本基礎造形学会（事務局長）、日本デザイン学会、日本色彩教育研究会、

アジアネットワークビヨンドデザイン

●専門分野とこれまでの研究	※詳細については個人ホームページで紹介 → http://takahainfo.com/
専 門 分 野 ： 視覚伝達デザイン、基礎造形、デザイン教育	
これまでの研究	
1 視覚伝達デザインの実践（広告・出版・印刷・パッケージ等、PRデザイン）	
2 コンピュータグラフィックスを活用した教育の実態調査（小学校から高校まで）	
3 光の軌跡・ライトアートの教材研究（科研費採択等）	
●現在の研究テーマおよび概要	
1 地域ブランドもしくは地域活性化に役立つ視覚伝達デザインの提案： 理論や調査だけでなく、実際に形として見えるPRツールを新たに提案できる研究スタイル	
2 学生のアイディアを活用した奥会津地方・只見線沿線の活性化デザイン	
3 産学連携および小中高大連携事業	
4 新しい基礎造形教育（基礎デザイン教育）の開発	
●相談に応じられる分野・キーワード	
1 地域ブランドや商品をPRするデザインの提案	
2 基礎造形教育（基礎デザイン教育）の調査及び開発	
3 ラベルやパッケージ、ポスター等のデザイン提案（学生コンペとしての実施も可）	
4 色彩もしくは錯視についてのセミナー	
5 自治体や各種団体イメージキャラクターやマスコット、ロゴマークなどのデザインもしくは審査	

キ ー ワ ー ド ： P Rデザイン、基礎造形、色彩、錯視、ロゴマーク、パッケージ、マスコット

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 『色のまなび事典』 3巻「光であそぶ①光の軌跡」（共著），株式会社星の環会，2015

[論文]

- 1 張子「ふわもこ羊」郷土玩具の新たな商品化, 日本デザイン学会作品集「デザイン学研究」第20号2014
- 2 配色技法による地域振興キャラクターの分類とその色彩教育へ利用の可能性, 日本基礎造形学会論文集「基礎造形023」, 2015
- 3 光の重色を活用した加法混色教材の試み, アジア基礎造形連合学会2015 成田大会 学会誌, 2016
- 4 スータブル・ギア・デザインの概念と地域活性化への試み：キャラクターをコアにして震災復興および風評被害対策に立ち向かう福島県の事例より, 日本デザイン学会第59回研究発表, 2012
- 5 奥会津・只見線沿線地域の社会問題を把握するための基礎研究-2015 年および2016 年の調査より-, 会津大学短期大学部研究紀要第74 号, 2017
- 6 新たな紙製ハンドメイドマスク「Petra Mask」の基礎開発, 日本基礎造形学会 学会誌「基礎造形029」, 2021

[社会的活動]

- 1 国立大学法人福島大学 非常勤講師 （担当科目：視覚デザインⅠ・Ⅱ）
- 2 画像情報教育振興協会 認定C G講師、認定マルチメディア講師
- 3 産学連携および小中高大連携事業
- 4 ロゴマークやマスコットなど各種デザイン多数（代表作：会津美里町「あいづじげん」）
- 5 福島県食品産業協会「なつはぜふるーてい」考案（2013年）
- 6 会津若松市健康増進課「レッツ！こぼりんダンス」（2014年）
- 7 会津若松市鶴ヶ城ハーフマラソン大会デザイナー及び広報アドバイザー
- 8 只見線利活用プロジェクトチーム（所管：福島県生活環境部）

産業情報学科 准教授 博士（芸術工学）

ヨ コ オ マ コ ト
横尾 誠

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会 芸術工学会 Asia Digital Art and Design Association (ADADA)

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： インターフェースデザイン インタラクションデザイン

これまでの研究

- 1 アイゲイズインターフェースに関する研究
- 2 画面表示される時系列的切替え文字に関する研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 フィジカルコンピューティングを使用した入力デバイスとコンテンツの活用に関する研究
- 2 360度カメラによる空間撮影とその閲覧方法に関する研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 インターフェースデザイン画面デザインと時系列的変化がある画面デザインにおける主観評価など
- 2 インタラクションデザインヒトの行動に反応するモノのふるまいのデザインとその評価

キ ー ワ ー ド ： ウェブ、画面、インターフェース、インタラクション、エクスペリエンス

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[論文]

- 1 “Urushi Rotating Controllers and Interface Design Based on Physical Computing ” The 10th Annual Conference of ADADA & the 6th International Conference of TADMD , pp.41-45, 2012
- 2 “フィジカルコンピューティングの漆芸作品への展開 ” デザイン学会 第59回研究発表大会概要集, pp.314-315, 2012
- 3 “地域資源の映像コンテンツ制作に関する研究 -取材テーマの類型化とシーン構成のパターン化による作業の効率化- ” 芸術工学会 2008年度秋季大会, pp.52-53, 2008
- 4 “地域活性化を目的とした地域資源の映像コンテンツ制作とその指導方法” 平成20年度教育改革 I T 戦略大会, pp.60-61, 2007

5	“アイゲイズインターフェースにおける文字入力ツール” 芸術工学会, 芸術工学会誌26号, 有, pp.114～117, 2000.
6	“A Design and Design Process of Reading Test Tool for Animating Character Display”4th. Asian Design Conference Bulletin, ISBN4-9980776-0-0 C3072, pp.711～720, 1999.
[特許]	
1	“テキスト高速順次切替表示システムおよびテキスト高速順次切替表示プログラム並びにテキスト高速順次 切替表示方法”, 富松潔, 正司 敬之, 福川洋, 横尾誠, 特開2004-220109, 2004
[社会的活動]	
1	会津若松市湊地区活性化協議会みなとまちづくりネットワーク協力員 2021-2023
2	あいづまちなかアートプロジェクト記録プロジェクト 360度撮影動画制作公開 2020~2022
3	会津若松市湊地区みんなと湊まちづくりネットワーク教育環境部会協働 湊地区のたたね文化と砂鉄に関する 調査研究事業 2019
4	会津若松市湊地区地域活性化協議会広報戦略会議 外部委員 2016-2018
5	福島県中小企業団体中央会 講師 【組合復興・自立等組織化・運営集中支援事業（会津宗教用具協同組合）】 2015-2018
6	「Pepper社会貢献プログラム」スクールチャレンジ 大熊町プログラミング成果発表会2017 審査委員
7	会津・漆の芸術祭実行委員 （平成24年度） 2010-2012
8	<漆のくに・会津>プロジェクト実行委員 （平成21年度 文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業） 2009-2010
9	産業人材育成推進協議会 （テクノアカデミー会津） 2008-2011

産業情報学科 講師 博士（工学）

シ ム テ ー ク チ ン

沈 得 正

○所属学会・協会 / 日本デザイン学会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： プロダクトデザイン、感性価値デザイン
これまでの研究
1 感性デザイン思考の枠組みと手法
2 波形単板コアパネルによる軽量家具のデザイン
3 組み立てやすさを考慮した組み立て家具接合部の提案
4 染色竹材を用いた効果的な表現手法の模索
5 家具固定を促す内装デザインの提案
6 3D デジタル技術を用いた陶器デザインの提案
●現在の研究テーマおよび概要
1 染色に着目した竹材の有効利用に関する研究
2 木材の凹凸模様が視・触感的印象を及ぼす影響
3 自然素材を用いたプロダクトの制作研究
4 竹材を利用した地域活性化への試み
5 3Dプリンターを用いた竹の接合部の制作研究
●相談に応じられる分野・キーワード
1 デザイン思考全般
2 材料・技術の利活用方法

3	生活用具（雑貨、キッチン用品、家具、玩具など）のデザイン
4	形の検討や型づくりの役に立つ、Fusion360による3Dデータの作成
5	試作品づくりの役に立つ、3Dデータを用いて3DプリンターやCNCによる試作品づくり
キ ー ワ ー ド ： デザイン思考、家具デザイン、生活用具デザイン、商品デザイン、CAD・CAM	
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[論文]	
1	植物繊維質材による敷物の物理的・感覚的性質:- 現代生活に適した植物繊維質材による敷物の提案（1）：デザイン学研究, 60(6), 55-64, 2014年
2	タケの構造に着目した染色方法の検討と染色竹材の印象評価：デザイン学研究, 63(6), 65-72, 2016年
3	竹材の染色部位と色が視覚的印象に及ぼす影響：デザイン学研究, 64(4), 1-8, 2017年
4	VISUAL IMPRESSION OF INDONESIAN TRADITIONAL PATTERN ON THE BAMBOO MATERIALS : Journal of the Science of Design, 4(2), 1-10, 2020
5	VISUAL IMPRESSION OF BAMBOO STICKS AND ACRYLIC RODS COMBINATION : Journal of the Science of Design, 4(1), 49-58, 2020
6	フィラーとプラスチックによる複合材料の経時変化に伴う質感変化：デザイン学研究, 67(1), 29-38, 2020年
7	材料の特性に着目した感性価値向上の試み（特集 感性設計の新展開(2)）：日本設計工学会誌, 55(4), 218-224, 2020年
[社会的活動]	
1	大戸まちづくりプロジェクトメンバー（2019.4～現在）
2	長岡造形大学非常勤講師（2020.4～現在） 担当科目：プロダクト材料学
3	坂下まちづくりプロジェクトメンバー（2022.10～現在）
4	仁愛高等学校非常勤講師（2022.4～現在） 担当科目：デザイン思考ワークショップ

産業情報学科 講師 修士（造形）

キ タ モ ト ガ ク

北本 雅久

○所属学会・協会 / 日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： グラフィックデザイン

これまでの研究

- 1 印刷表現を主とするデザイン制作
- 2 デザイン分野の展示企画

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 グラフィックデザインの制作研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 広報物（ポスターやフライヤーなど）のデザイン
- 2 ロゴや校章のデザイン
- 3 パッケージのデザイン
- 4 グラフィックデザインの講座、ワークショップ
- 5 展覧会などの展示レイアウト

キ ー ワ ー ド ： グラフィックデザイン、ポスター、ロゴ、校章、フライヤー（チラシ）、パンフレット、パッケージ、広報物、展示企画、ワークショップ

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[作品発表]

- 1 「第12回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2018」富山県美術館（2018）
- 2 あいづまちなかアートプロジェクト各種デザイン（2016～2022）

3	会津大学短期大学部各種広報ツール（2015～2023）
4	福島県立南会津高等学校校章（2022）
[社会的活動]	
1	会津若松市「あいづまちなかアートプロジェクト」 展示アドバイザー（2015～2021）、広報物デザイン（2016～2022）
2	第4回「民家の甲子園」福島大会～町並みフォトコンテスト 審査員（2015）
3	「パソコン甲子園」いちまいの絵CG部門 審査委員（2019～）
4	福島県屋外広告物審議会 委員（2020）
5	税に関する絵はがきコンクール選考会 審査委員長（2021～）

食物栄養学科 教授 博士（医学）

ヒ ダ リ カ ズ ヤ

左 一 八

○所属学会・協会 / 日本生化学会、日本薬学会、日本糖質学会、日本脂質生化学会、日本ウイルス学会、

日本熱帯医学会、日中医学協会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 生化学、糖鎖生物学、ウイルス学
これまでの研究
1 糖鎖の構造と機能に関する研究
2 糖鎖認識による病態機構の解明と創薬・診断薬への応用
3 ウイルスの宿主感染・増殖機構の解明と創薬への応用
●現在の研究テーマおよび概要
1 糖鎖認識による病態機構の解明と診断薬の開発 単クローン抗体を利用した特異的糖鎖検出系の確立およびそれを用いた病態解明と診断薬開発
2 ウイルスの宿主認識機構の解明と創薬への応用 単クローン抗体を利用したウイルス宿主認識にかかわる糖質分子の同定と創薬リードの創出
3 地域伝統食材に含まれる機能性成分の調査・分析、レシピ開発と給食メニューへの展開 免疫生化学的手法を利用した食品中の希少糖分析法の確立
●相談に応じられる分野・キーワード
1 糖質の機能性研究
2 ウイルス感染症関連研究
3 抗糖鎖抗体を利用した基礎医学研究
4 食品に含まれる生体機能に影響を及ぼす糖質の汎用的検出法の開発研究
5 伝統食材の機能性成分を活用したメニュー開発研究
キ ー ワ ー ド ： 糖質、糖鎖、シアル酸、ウイルス感染、抗糖鎖単クローン抗体、機能性食品、地域伝統食材

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 著書 〕	
1	化学療法の領域 「蚊媒介性ウイルス感染症理解の最前線」 フラビウイルス感染症に対する治療薬研究最前線（医薬ジャーナル社） 33巻、第8号、pp. 132-138 (2017)
2	化学療法の領域 「飛躍的に発展を見せる抗ウイルス薬」 抗 Dengue ウイルス薬開発の現状（医薬ジャーナル社） 33巻、第1号、pp. 89-95 (2017)
3	Sia α 2-3含有糖鎖の免疫学的検出 和光純薬時報 80巻、第1号、pp. 2-4 (2013)
4	Dengue ウイルス感染に関わる糖鎖分子の構造と機能 生化学 82巻、第8号、pp. 751-755 (2010)
5	クロモグリク酸ナトリウム（DSCG）の新たな知見ー抗インフルエンザ作用ー、新薬と臨床（医薬情報研究所） 54巻、第1号、 pp. 2-9 (2005)
6	クロモグリク酸ナトリウムの有する抗インフルエンザウイルス作用、 アレルギー科「感染症と皮膚疾患」（科学評論社） 18巻、第4号、pp. 330-336 (2004)
7	細胞間認識に關与する機能的複合糖質分子に関する研究、薬学雑誌（日本薬学会） 123巻、第5号、pp. 315-322 (2003)
8	病原性微生物に対する新しい糖鎖性医薬品の登場 Trend in Glycosci. Glycotech. (TIGG) 15巻、p. 81 (2003)
9	内分泌・代謝ーポリAシグナル、看護大辞典（医学書院） pp. 2552 (2002)
10	CD162 (P-selectin glycoprotein ligand-1 (PSGL-1))、免疫学辞典第2版（東京化学同人）(2001)
11	CD162 [P-selectin glycoprotein ligand-1 (PSGL-1)]、臨床免疫（科学評論社） 34巻、pp. 393-397 (2000)
12	生物化学実験法35巻「ガングリオシド研究法I、II」（学会出版センター） pp. 185-193 (1996)
13	Molecular mechanisms for diversity of ganglioside sugar chains: cDNA cloning and cellular expression of β 1-4N-acetylgalactosaminyltransferase. RIKEN Review 8, 31-32 (1995)
〔 論文 〕	
1	Optimization of the conditions for the immobilization of glycopolypeptides on hydrophobic silica particulates and simple purification of lectin using glycopolypeptide-immobilized particulates. Carbohydr Res. 519, 108624 (2022)
2	Anti-viral activity of culinary and medicinal mushroom extracts against dengue virus serotype 2: an in-vitro study. BMC Complementary and Alternative Medicine 19:260 (2019) https://doi.org/10.1186/s12906-019-2629-y
3	Application of Novel Sialoglyco Particulates Enhances the Detection Sensitivity of the Equine Influenza Virus by Real-Time Reverse Transcriptase Polymerase Chain Reaction. ACS Appl. Bio Mater. 2(3), 1255-1261 (2019)
4	Chemical synthesis of 4-azido-β -galactosamine derivatives for inhibitors of N-acetyl galactosamine 4-sulfate 6-O-sulfotransferase. Glycoconjugate Journal, 35(5), 477-491 (2018)

5	Chemoenzymatic synthesis and characterization of N-glycolylneuraminic acid-carrying sialoglycopolypeptides as effective inhibitors against equine influenza virus hemagglutination. Biosci. Biotech. Biochemi. 81(8), 1520–1528 (2017)
6	Synthesis of p-methoxyphenyl sulfated β -GalNAc derivatives with inhibitory activity against Japanese encephalitis virus. Pure Appl. Chem. 89, 1251–1266 (2017)
7	Isolation and characterization of monoclonal antibodies specific for chondroitin sulfate E. Glycobiology, 25(9), 953–962 (2015)
8	Facile Synthesis of Sulfated Sialoglycopolypeptides with a γ -Polyglutamic Acid Backbone as Hemagglutinin Inhibitors against Influenza Virus. J. Appl. Glycosci., 61, 1–7 (2014)
9	Measurement of aberrant glycosylation of prostate specific antigen can improve specificity in early detection of prostate cancer. Biochem. Biophys. Res. Commun. 448, 390–396 (2014)
10	Computational design of a sulfoglucuronide derivative fitting into a hydrophobic pocket of dengue virus E protein. Biochem. Biophys. Res. Commun. 449, 32–37 (2014)
11	Influenza virus utilizes N-linked sialoglycans as receptors in A549 cells. Biochem. Biophys. Res. Commun. 436, 394–399 (2013)
12	Improvement of Depression-Like Behavior and Memory Impairment with the Ethanol Extract of Pleurotus eryngii in Ovariectomized Rats. Biol. Pharm. Bull. 36, 1990–1995 (2013)
13	Carbohydrate-Related Inhibitors of Dengue Virus Entry. Viruses 5, 605–618 (2013)
14	3-O-sulfated glucuronide derivative as a potential anti-dengue virus agent. Biochem. Biophys. Res. Commun. 424, 573–578 (2012)
15	Design and Synthesis of a Novel Ganglioside Ligand for Influenza A Viruses. Molecules 17, 9590–9602 (2012)
16	Cold-shock Protein Expression System Facilitates the Solubility of Human ST6Gal I in Escherichia Coli. Open Glycosci. 5, 13–18 (2012)
17	No evidence of horizontal infection in horses kept in close contact with dogs experimentally infected with canine influenza A virus (H3N8). Acta Vet. Scand. 54, 25 (2012)
18	Dengue virus type 2 recognizes the carbohydrate moiety of neutral glycosphingolipids in mammalian and mosquito cells. Microbiol. Immunol. 55, 135–140 (2011)
19	Dengue virus receptor. Trop. Med. Health. 39, 37–43 (2011)
20	Antiviral agents targeting glycans on dengue virus E-glycoprotein. Expert Rev. Anti Infect. Ther. 9(11), 983–985 (2011)
21	Unique heparan sulfate from shrimp heads exhibits a strong inhibitory effect on infections by dengue virus and Japanese encephalitis virus. Biochem. Biophys. Res. Commun. 412(1), 136–142 (2011)
22	Distribution of Influenza Virus Sialoreceptors on Upper and Lower Respiratory Tract in Horses and Dogs. J. Med. Vet. Sci. 73, 125–127 (2011)
23	Antiviral activity of chondroitin sulphate E targeting dengue virus envelope protein. Antiviral Res. 88, 236–243 (2010)
24	Infectivity and pathogenicity of canine H3N8 influenza A virus in horses. Influenza Other Respi. Viruses 4, 345–351 (2010)
25	Glycan receptor for influenza virus. Open Antimicrobial Agents J. 2, 26–33 (2010)
26	Structure and function of glycoconjugates involved in dengue virus infection. Seikagaku 82, 751–755 (2010)

27	Identification and characterization of flavonoids as sialyltransferase inhibitors. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 382, 609–613 (2009)
28	Chemoenzymatic synthesis of sialoglycopolypeptides as glycomimetics to block infection by avian and human influenza viruses. <i>Bioconjugate Chem.</i> 20, 538–549 (2009)
29	Molecular design of spacer-N-linked sialoglycopolypeptide as polymeric inhibitors against influenza virus infection. <i>Biomacromolecules</i> 10, 1894–1903 (2009)
30	Systematic syntheses of influenza neuraminidase inhibitors: A series of carbosilane dendrimers uniformly functionalized with thioglycoside-type sialic acid moieties <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 17, 5451–5464 (2009)
31	Chemoenzymatic synthesis, characterization, and application of glycopolymers carrying lactosamine repeats as entry inhibitors against influenza virus infection. <i>Glycobiology</i> 18, 779–788 (2008)
32	Structure and anti-dengue virus activity of sulfated polysaccharide from a marine alga. <i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> 376, 91–95 (2008)
33	Sulfatide is required for efficient replication of influenza A virus. <i>J. Virol.</i> 82, 5940–5950 (2008)
34	Clarithromycin Inhibits Progeny Virus Production from Human Influenza Virus-Infected Host Cells. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 31, 217–222 (2008)
35	In Vitro Inhibition of Human Influenza A Virus Infection by Fruit-Juice Concentrate of Japanese Plum (<i>Prunus mume</i> SIEB. et ZUCC). <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 31, 511–515 (2008)
36	Binding kinetics of influenza viruses to sialic acid-containing carbohydrates. <i>Glycoconjugate J.</i> 24, 583–590 (2007)
37	Slow diffusion of lactose out of Galectin-3 crystals monitored by X-ray crystallography: possible implications for ligand-exchange protocols. <i>Acta Cryst. Section D</i> 63, 415–419 (2007)
38	The New Role of Disodium Cromoglycate in the Treatment of Adults with Bronchial Asthma. <i>Allergology International</i> 56, 231–239 (2007)
39	The quail and chicken intestine have sialyl-galactose sugar chains responsible for the binding of influenza A viruses to human type receptors. <i>Glycobiology</i> 17, 713–724 (2007)
40	Novel linear polymers bearing thiosialosides as pendant-type epitopes for influenza neuraminidase inhibitors. <i>Bioorg. Med. Chem. Lett.</i> 17, 3826–3830 (2007)
41	Thiosialoside clusters using carbosilane dendrimer core scaffolds as a new class of influenza neuraminidase inhibitors. <i>Bioorg. Med. Chem. Lett.</i> 17, 717–721 (2007)
42	Lactotriose-containing carbosilane dendrimers: Syntheses and lectin-binding activities. <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 15, 1606–1614 (2007)
43	Chemoenzymatic synthesis of artificial glycopolypeptides containing multivalent sialyloligosaccharides with a γ -polyglutamic acid backbone and their effect on inhibition of infection by influenza viruses. <i>Bioorg. Med. Chem.</i> 15, 1383–1393 (2007)
44	Suppression of the biosynthesis of cellular sphingolipids results in the inhibition of the maturation of influenza virus particles in MDCK cells. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 29, 1575–1579 (2006)
45	Identification and characterization of carbohydrate molecules in mammalian cells recognized by dengue virus type 2. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 139, 607–614 (2006)
46	Edible bird's nest extract inhibits influenza virus infection. <i>Antiviral Res.</i> 70, 140–146 (2006)
47	Human trachea primary epithelial cells express both sialyl-2,3 Gal receptor for human parainfluenza virus type 1 and avian influenza viruses, and sialyl-2,6 Gal receptor for human influenza viruses. <i>Glycoconjugate J.</i> 23, 101–106 (2006)

48	Purification and characterization of a soluble recombinant human ST6Gal I functionally expressed in <i>Escherichia coli</i> . <i>Glycoconjugate J.</i> 22, 1-11 (2005)
49	Sialidase activity of influenza A virus in an endocytic pathway enhances viral replication. <i>J. Virol.</i> 79, 11705-11715 (2005)
50	In Vitro and In Vivo Inhibitory Effects of Disodium Cromoglycate on Influenza Virus Infection. <i>Biol. Pharm. Bull.</i> 27, 825-830 (2004)
51	Evolutional analysis of influenza A virus N2 neuraminidase genes based on the transition of the low-pH stability of sialidase activity. <i>FEBS Lett.</i> 557, 228-232 (2004)
52	Identification of glycosphingolipid receptors for pierisin-1, a guanine-specific ADP-ribosylating toxin from the cabbage butterfly. <i>J. Biol. Chem.</i> 278, 9972-9978 (2003)
53	Inhibition of influenza A virus sialidase activity by sulfatide. <i>FEBS Lett.</i> 553, 355-359 (2003)
54	A molecular mechanism for the low-pH stability of sialidase activity of influenza A virus N2 neuraminidases. <i>FEBS Lett.</i> 543, 71-75 (2003)
55	Chemoenzymatic synthesis and application of glycopolymers containing multivalent sialyloligosaccharides with a poly(L-glutamic acid) backbone for inhibition of infection by influenza viruses. <i>Glycobiology</i> 13, 315-326 (2003)
56	An O-glycoside of sialic acid derivative that inhibits both hemagglutinin and sialidase activities of influenza viruses. <i>Glycobiology</i> 12, 183-190 (2002)
57	Engagement of endogenous ganglioside GM1a induces tyrosine phosphorylation involved in neuron-like differentiation of PC12 cells. <i>Glycobiology</i> 11, 335-343 (2001)
58	Inhibition of human parainfluenza virus type 1 sialidase by analogs of 2-deoxy-2,3-didehydro-N-acetylneuraminic acid. <i>Glycoconjugate J.</i> 18, 331-337 (2001)
59	A unique Phosphatidylinositol Bearing a Novel Branched-chain Fatty Acid from <i>Rhodococcus equi</i> Binds to Influenza Virus Hemagglutinin and Inhibits the Infection of Cells. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 130, 377-384 (2001)
60	Duck and human pandemic influenza A viruses retain sialidase activity in low pH conditions. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 130, 279-283 (2001)
61	Synthesis of 2-deoxy-2,3-didehydro-N-acetylneuraminic acid analogues modified at the C-4 and C-9 positions and their behaviour towards sialidase from influenza virus and pig liver membrane. <i>Carbohydr. Res.</i> 330, 31-41 (2001)
62	A Macrocyclic Sialic Acid Cluster as a Host, as an Adsorbant, and as a Ligand for Lectin and Virus. <i>Chemistry Letters</i> 28, 1259-1260 (1999)
63	Substitution of amino acid residue in influenza A virus hemagglutinin affects recognition of sialyloligosaccharides containing N-glycolylneuraminic acid. <i>FEBS Lett.</i> 464, 71-74 (1999)
64	Ganglioside GM1a on the cell surface is involved in the infection by human Rotavirus KUN and MO strain. <i>J. Biochem. (Tokyo)</i> 126, 683-688 (1999)
65	Engagement of P-selectin Glycoprotein Ligand-1 Enhances Tyrosine Phosphorylation and Activates Mitogen-activated Protein Kinases in Human Neutrophils. <i>J. Biol. Chem.</i> 272, 28750-28756 (1997)
66	Complete removal of sphingolipids from the plasma membrane disrupts cell-substratum adhesion of mouse melanoma cells. <i>J. Biol. Chem.</i> 271, 14636-14641 (1996)
67	Expression cloning of a cDNA for human ceramide glucosyltransferase that catalyzes the first glycosylation step of glycosphingolipid synthesis. <i>Proc. Natl. Acad. Sci. USA</i> 93, 4638-4643 (1996)
68	Synthesis and Characterization of a Carbene-Generating Biotinylated Lactosylceramide Analog as a Novel Chromogenic Photoprobe for GM3 Synthase. <i>Chem. Pharm. Bull.</i> 44, 1111-1114 (1996)

69	Synthesis of a carbon-linked CMP-NANA analog and its inhibitory effects on GM3 and GD3 synthases. Heterocycles 43, 531-534 (1996)
70	A carbene-generating biotinylated lactosylceramide analog as novel photoreactive substrate for GM3 synthase. Bioorg. Medicin.Chem. Lett. 5, 2859-2862 (1995)
71	Occurrence of a novel fucose-containing pentaglycosylceramide with blood-group-B active determinant in Xenopus blastula cells: its possible involvement in cell-cell adhesion. Biochem. J. 306, 821-827 (1995)
72	β 1-4N-Acetylgalactosaminyltransferase Can Synthesize Both Asialo-glycosphingolipid GM2 and Glyco-sphingolipid GM2 In Vitro and In Vivo: Isolation and Characterization of β 1-4N-acetylgalactosaminyl transferase cDNA Clone from Rat Ascites Hepatoma Cell Line AH7974F. Biochem. J. 303, 957-966 (1994)
73	A Unique Biosynthetic Pathway for Gangliosides Exists in Xenopus laevis Oocytes. FEBS Lett. 353, 25-28 (1994)
74	Biosynthetic Pathway for A New Series of Gangliosides, GT1a α and GQ1b α . FEBS Lett. 351, 291-294 (1994)
75	In vitro Synthesis of Disialosylganglioside (GD1 α) from Asialo-GM1 using sialyltransferases in rat liver Golgi vesicles. Eur. J. Biochem. 221, 603-609 (1994)
76	A novel ganglioside with free amino group in bovine brain. Biochem. J. 296, 259-263 (1993)
77	Isolation and Characterization of a Monosialosylgangliopentaosyl Ceramide from Xenopus laevis Oocyte. J. Biochem. (Tokyo) 110, 412-416 (1991)
78	A New Monoclonal Antibody Directed to Sialyl α 2-3lactoneotetraosylceramide and Its Application for Detection of Human Gastrointestinal Neoplasmas. J. Biochem. (Tokyo) 109, 354-360 (1991)
79	Involvement of the Acyl Chain of Ceramide in Carbohydrate Recognition by an Anti-Melanoma Antibody, M2590, to GM3-Ganglioside. Glycoconjugate J. 6, 551-560 (1989)
80	Altered Ganglioside Expression in ras-Oncogene-Transformed Cells. J. Biochem. (Tokyo) 106, 34-37 (1989)
81	Aberant Expression of Ganglioside and Asialoglycosphingolipid Antigens in Adult T-cell Leukemia Cells. Jpn. J. Cancer Res. (Gann) 78, 1112-1120 (1987)
[特許]	
1	前立腺癌の検出に有用な単クローン抗体およびその抗体をコードする遺伝子 特許6444136号（2018年12月7日登録）
2	前立腺癌と前立腺肥大を識別するための方法およびキット 特許6381033号（2018年8月10日登録）、（国際出願番号PCT/JP2013/ 077495）
3	抗デングウイルス剤 特許5777200号（2015年7月17日登録）
4	フラボン誘導体の製造方法およびシアル酸転移酵素阻害剤 特許5424296号（2013年12月6日登録）
5	新規なN結合型人工シアロ糖鎖含有ポリマーおよびその製造方法 特許5360497号（2013年9月13日登録）、（国際出願番号PCT/JP2008/061429）
6	ウイルスレセプター糖鎖認識特異性の判別方法 特許5130598号（2012年11月16日登録）（国際出願番号PCT/JP2006/316928）
7	新規糖鎖担持カルボシラン dendリマーおよびその製造法、並びにデング熱ウイルス感染阻害剤、抗ウイルス剤及び抗H I V剤のスクリーニング用標的物質 特許4666941号（2011年1月21日登録）

[社会的活動]	
1	会津若松市環境審議会会長
2	会津若松市環境大賞選考委員

食物栄養学科 教授 博士（学術）

ミヤシタ トモコ

宮下 朋子

○所属学会・協会 / 日本家政学会、日本調理科学会、日本栄養改善学会、日本災害食学会、
日本咀嚼嚥下リハビリテーション学会、日本栄養士会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 調理科学
これまでの研究
1 気泡含有食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性
2 ゼラチンゾルおよびゲルの性状に及ぼす副材料の影響
●現在の研究テーマおよび概要
1 気泡含有食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性 食品に気泡が混入することによるテクスチャーの変化を利用した、嗜好性の高い嚥下障害対応食品の検討
2 福島県産自然薯を利用した気泡含有食品 粘りの強い福島県産自然薯を利用して、菓子、高齢者用食品の開発
3 塩味感受性を向上させるための教育方法について 栄養士に必要な塩味感受性を向上させるための教育方法の検討
4 乳幼児からの生活習慣病予防について
●相談に応じられる分野・キーワード
1 食品の性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性
2 自然薯を用いた気泡含有食品
3 塩味感受性を向上させるための教育方法
4 ゼラチンゾルおよびゲルの性状に及ぼす副材料の影響
キ ー ワ ー ド ： 嚥下困難者用食品、自然薯、気泡含有食品、ゼラチン、高齢者用とろみ剤

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 著書 〕	
1	『調理学実習 基本調理から給食への展開 第二版 』，同文書院(2016) 編著
2	『新 調理学実習 – 一般調理から大量調理 その基礎と展開 –』，同文書院（2013） 編著
3	『調理学の基本 – おいしさと健康を科学する –』，同文書院，pp. 23-55（2007）
〔 論文 〕	
1	阿賀野川・阿賀川を通して会津に運ばれた「身欠きにしん」,福島学院大学 教育・保育論集第24号，38-54（2022）
2	乳幼児からの生活習慣病予防 –うま味を使って望ましい味覚を育てる–，福島学院大学 教育・保育論集第24号，46-58（2021）
3	豆腐と自然薯を用いた気泡含有製品の創成と嚥下困難者用食品への利用適性，日本調理科学会誌 52(3), 176-181（2019）
4	『福島県産自然薯を主材にした高齢者用新規食品の開発』，月刊フードケミカル，食品科学新聞社，東京，391，102-107（2017）
5	魚肉混合ムース製品の創成とQOLを高める嚥下困難者用食品への利用適性，日本調理科学会誌，47，84-89（2014）
6	自然薯ゼラチンゲル製品の品質に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性，日本調理科学会誌，47，17-24（2014）
7	フレンチメレンゲの性状や嗜好性に及ぼす気泡の影響と嚥下困難者用食品への利用適性，日本家政学会誌，64，725-732（2013）
8	自然薯蒸しパンの品質に及ぼす気泡の影響と蒸しパン粥の利用適性，日本調理科学会誌，46，53-60（2013）
9	Detection and Analysis of the Thermal Conduction in Foodsstuffs during Cooling Procedure, Journal of Cookery Science of Japan, 45, 413-421（2012）
10	イタリアンメレンゲの性状や嗜好性に及ぼすシロップの砂糖濃度の影響，日本調理科学会誌，43，26-33（2010）
11	ババロアの物性に及ぼす起泡生クリームの性状とゼラチンゾルの混合温度の影響，日本家政学会誌，57，469-475（2006）
12	減塩教育の可能性について –塩分濃度差識別調査からの検討– 会津大学短期大学部年報63号，139–146（2006）
13	熱伝達率を利用した非破壊法による調理食品のゲル化温度の測定–従来法との比較–，福島大学教育学部理科報告，56，25–35（1995）
14	寒天混合ゼラチンゾルのゲルへの変換とゲルのレオロジー的特性，日本調理学会誌，27，363-368（1994）
〔 社会的活動 〕	
1	福島県産品選定委員会副会長

2	日本栄養改善学会評議員
3	福島県栄養士会研究教育協議会会長（2017～2019）
4	日本調理科学会東北支部幹事（2022～2023）

食物栄養学科 教授 修士（地域政策）

スズキ ヒデコ

鈴木 秀子

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会、日本食育学会、日本健康教育学会、
日本社会教育学会、日本栄養士会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 公衆栄養 栄養教育・指導
これまでの研究
1 食環境整備に関する調査研究
2 栄養士の就業状況と意識に関する研究
3 小学生・中学生・高校生・大学生の食生活に関する調査研究
4 幼稚園・保育所における食育に関する研究
5 栄養素等摂取量、食品群別摂取量及び食行動の関連に関する研究
●現在の研究テーマおよび概要
1 幼児期の食育に関する研究 ・ 幼児の身体機能の発達段階に応じた食育の具体的な内容と方法を探る。 ・ 幼稚園・保育所の食育について、現状分析と今後のあり方を探る。
2 食をとおした地域づくり活動に関する研究 ・ 食生活改善推進員の地区組織活動をとおした学びを分析する。 ・ 食をとおした健康づくり活動が地域づくりに発展する可能性と要因を探る。
3 食行動と栄養素等摂取量及び食品群別摂取量の関連に関する研究 ・ 健康リスクの背景にある食行動と栄養素等摂取量と食品群別摂取量の関連を明らかにする。 ・ 国民健康・栄養調査結果（福島県）の分析から、県民の食行動の変化を明らかにする。
4 食行動チェック票による栄養教育介入効果に関する研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 食育、栄養教育・指導、公衆栄養
- 2 食育推進計画、健康増進計画（栄養・食生活分野）の策定・評価
- 3 食環境整備（地区組織育成、職域における健康づくり、飲食店等による健康づくり支援）
- キ ー ワ ー ド : 食をとoshた子育て・子育て、食育推進計画、食育プログラム、食をとoshた健康づくり・地区組織育成

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書・報告書]

1

食育ガイド 幼稚園・保育所から わくわく どきどき きらきら を広めよう！（会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2009.3）

2

食を通した子育て・子育て支援事業 食育に関する実態調査報告書（会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2008.3）

3

食育に関する実態調査報告書（幼児と保護者の食生活に関する実態、幼稚園・保育所における食育の実態）（2015.3）

4

健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」食行動実態把握調査結果集計・分析報告書（会津大学短期大学部、2017.3）

5

健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」食行動実態把握調査結果集計・分析報告書（エネルギー及び栄養素摂取量・食品群別摂取量・食行動の関連）（会津大学短期大学部、2018.3）

6

健康長寿のための減塩&野菜を食べよう大作戦「食行動実態把握調査結果集計・分析業務」平成29年度食行動実態把握調査結果集計・分析報告書（会津大学短期大学部、2018.3）

7

2016～2019年国民健康・栄養調査（福島県）集計結果報告書（会津大学短期大学部、2021.3）

8

紙芝居「いただきます ごちそうさま」（会津大学短期大学部、福島県保健福祉部,2009.3）

[論文]

1

福島県における健康づくりのための食環境整備の現状と課題（会津大学短期大学部研究年報第62号,2005.2）

2

栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての取り組み（会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号,2007.3）

3

栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第一報）グループインタビューの実施結果(会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号,2007.3）

4

栄養士・管理栄養士の業務の充実に向けての検討（第二報）栄養士等の就業状況と意識に関する調査結果（会津大学短期大学部地域総合調査室 地域研究第13号,2007.3）

5

子どもから家庭へつなぐ食育 ～保護者の「学び」からの検討～（会津大学短期大学部研究年報第67号,2010）

6

食生活改善推進員会に対する市町村の支援のあり方について ～ 食生活改善推進員養成講座が及ぼす影響からの検討（会津大学短期大学部研究紀要 第69号,2012）

7	福島県における幼稚園・保育所の食育の現状と課題 ～栽培活動について～（会津大学短期大学部研究紀要 第73号,2016）
8	福島県民の過不足リスクがある栄養素等と食品群別摂取量の関連～59歳以下と60歳以上世代の比較（会津大学短期大学部研究紀要 第77号、2019）
[社会的活動]	
1	福島県食育推進ネットワーク会議 会長
2	「健康ふくしま21」評価検討会委員
3	福島県生涯学習審議会委員
4	福島県安全で安心な県づくり推進会議委員
5	会津地方地域・職域連携推進協議会 座長
6	喜多方市食育推進会議 委員
7	喜多方市健康づくり推進協議会 委員
8	会津坂下町健康づくり推進協議会 委員
9	公益社団法人福島県栄養士会 会長

食物栄養学科 准教授 博士（林学）

タ ケ イ ト シ ユ キ

武井 利之

○所属学会・協会 / 日本木材学会、日本農芸化学会、日本応用糖質科学会、日本きのこ学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 糖化学、林産化学、食品機能

これまでの研究

- 1 植物及びきのこ類の細胞壁構成多糖類に関する研究
- 2 FT-IRスペクトルを用いた木材及び和紙の非破壊分析に関する研究
- 3 地域農林産物のがん細胞増殖抑制成分に関する研究
- 4 きのこ及び竹の放射性物質の吸収抑制に関する研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 地域農林産物の成分科学的特徴の解明

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 農林産物の低分子成分とその分析方法
- 2 農林産物の食物繊維及び関連糖質の分析方法

キ ー ワ ー ド ： ペクチン、ヘミセルロース、オリゴ糖、がん細胞、アポトーシス誘導、放射性セシウム

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[論文]

- 1 福島県のきのこ生産現場における放射性物質の影響と対策、日本きのこ学会誌、Vol.20, 165-170、2012
- 2 異なる条件で栽培したナメコ子実体のラジカル消去能、日本きのこ学会誌、Vol.18, 67-71、2010
- 3 きのこの有用成分、FOOD & FOOD INGREDIENTS JOURANAL OF JAPAN、Vol.211, No.2, 117-123、2006

4	5 α ,8 α -Epidioxy-22E-ergosta-6,9(11),22-trien-3 β -ol from an Edible Mushroom Suppresses Growth of HL60 Lukemia and HT29 Colon Adenocarcinoma Cells, Biol. Pharm. Bull.29(4)755-759, 2006
5	Ergosterol Peroxide, an Apoptosis-Inducing Component Isolated from Sarcodon aspratus (Berk.) S Ito、Biosci. Biotechnol. Biochem.69, 212-215, 2005
6	FT-IR法を用いた和紙の非破壊測定、文化財保存修復学会誌、Vol.47, 71-75、2003
7	FT-IR法を用いた木質保存箱の劣化解析、文化財保存修復学会誌、Vol.47, 65-70、2003
8	ニガウリのがん細胞アポトーシス誘導効果、日本食品科学工学会誌、第49巻,250-256、2002
9	人為的障害に由来するカラマツ材部の劣化、東北森林科学会誌、第7号,20-22、2002
10	ヒメマツタケCJ-01の菌糸成長に及ぼす因子、木材学会誌、Vol.47, 63-69、2001
11	FT-IR法による法隆寺古材の劣化の解析、木材学会誌、Vol.41, 1012-1016、1997
12	オヒルギ胎生種子の細胞壁構成多糖類、マングローブサイエンス、Vol.1, 43-50、1996
13	オヒルギ胎生種子細胞壁調整過程で得られたガラクトチュロナン、木材学会誌、Vol.41, 1012-1016、1995
14	オヒルギ葉肉組織からのプロトプラスト調製、木材学会誌、Vol.41, 932-937、1995
15	ラマン散乱スペクトルによる木材とタケのリグニン解析、木材学会誌、Vol.41, 229-236、1995
16	マングローブ樹種の化学成分特性（第5報）、木材学会誌、Vol.40, 868-873、1994
[社会的活動]	
1	日本きのこ学会評議員
2	日本応用糖質学会東北支部理事
3	日本木材学会「放射性物質の木材への影響に関する調査・研究ワーキンググループ」委員（2012年6月まで）

食物栄養学科 准教授 博士（理学）

ウルシタニ ヒロシ

漆谷 博志

○所属学会・協会 / 日本内分泌攪乱物質学会、日本比較内分泌学会、環境DNA学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 比較内分泌学、内分泌学

これまでの研究

- 1 内分泌学攪乱化学物質による魚類などへの影響に関する研究
- 2 有機スズ類による軟体動物腹足類の生殖器官などに対する影響に関する研究
- 3 ホルモン受容体を用いた内分泌攪乱化学物質によるホルモン作用の検討に関する研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 海産巻貝のホルモン受容体を用いた化学物質による影響検討に関する研究
海産巻貝のイボニシより単離した様々なホルモン受容体を用いた化学物質影響の評価系開発
- 2 海産巻貝を用いた東日本震災による影響に関する研究
海産巻貝のイボニシを用いた震災影響による生態系影響の評価（共同研究）
- 3 裏磐梯・猪苗代水系などにおける環境DNA技術を用いた外来種分布調査
裏磐梯・猪苗代水系などにおいて、ウチダザリガニの分布を環境DNA技術などを用い調査する

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 内分泌
- 2 一般生物
- 3 内分泌攪乱化学物質
- 4 性ホルモン
- 5 魚類
- 6 軟体動物（貝類）

キ ー ワ ー ド ： 内分泌、内分泌攪乱化学物質、性ホルモン、水生動物

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 著書 〕	
1	ステップアップ食品衛生学（自然毒・化学物質による食中毒）,化学同人, p.79-104, 2023
〔 論文 〕	
1	猪苗代湖・裏磐梯周辺水系における水棲生物生息調査ならびにメダカの遺伝学的解析, 会津大学短期大学部研究紀要 第80号, p.65-72, 2023
2	N-terminal domain regulates steroid ac-tivation of elephant shark glucocorticoid and mineralocorticoid receptors. The Journal of steroid biochemistry and molecular biology 210, 105845, 2021
3	Characterization and comparison of transcriptional activities of the retinoid X receptors by various organotin compounds in three prosobranch gastropods; Thais clavigera, Nucella lapillus and Babylonia japonica. Aquatic toxicology 199, 103-115. 2018
4	Development of reproductive organs in the ivory shell Babylonia japonica: Observations from wild populations and laboratory-reared juveniles. Marine Environmental Research 93, 4-14. 2014
5	Cloning and characterization of the retinoic acid receptor-like protein in the rock shell, Thais clavigera. Aquatic toxicology 142-143, 403-413. 2013
6	Structure of the intratesticular duct system for sperm emission in the starspotted smooth-hound Mustelus manazo. Fisheries Science 79 (2), 203-211. 2013
7	Molecular cloning and characterization of the corticoid receptors from the American alligator. Molecular and Cellular Endocrinology 365 (2), 153-61. 2013
8	Cloning, expression and functional characterization of carp, Cyprinus carpio, estrogen receptors and their differential activations by estrogens. Journal of Applied Toxicology 33 (1), 41-49. 2013
9	Vas deferens and penis development in the imposex-exhibiting female rock shell, Thais clavigera. Marine Environmental Research 76, 71-79. 2012
10	Comparative responsiveness to natural and synthetic estrogens of fish species commonly used in the laboratory and field monitoring. Aquatic Toxicology 109, 250-258. 2012
11	Cloning and characterization of retinoid X receptor (RXR) isoforms in the rock shell, Thais clavigera. Aquatic Toxicology 103 (1-2), 101-111. 2011
12	Molecular cloning of anti- Müllerian hormone from the American alligator, Alligator mississippiensis. Molecular and Cellular Endocrinology 333 (2), 190-199. 2011
13	Cloning and functional characterization of Chondrichthyes, cloudy catshark, Scyliorhinus torazame and whale shark, Rhincodon typus estrogen receptors. General and Comparative Endocrinology 168 (3), 496-504. 2010
14	Molecular cloning and characterization of ligand- and species-specificity of amphibian estrogen receptors. General and Comparative Endocrinology 168 (2), 220-230. 2010
15	Potential Contributions of Heat Shock Proteins to Temperature-Dependent Sex Determination in the American Alligator. Sexual Development 4 (1-2), 73-87. 2010
16	Establishment of a polyclonal antibody against the retinoid X receptor of the rock shell Thais clavigera and its application to rock shell tissues for imposex research. Ecotoxicology 19 (3), 571-6. 2010
17	Estrogen-Dependent Transactivation of Amphioxus Steroid Hormone Receptor via Both Estrogen and Androgen Response Elements. Endocrinology 151 (2), 639-648. 2010

18	Environmental health impacts of equine estrogens derived from hormone replacement therapy. Environmental Science & Technology 43 (10), 3897-904. 2009
19	Sexual Reprogramming and Estrogenic Sensitization in Wild Fish Exposed to Ethinylestradiol. Environmental Science & Technology 43 (4), 1219-1225. 2009
20	In vitro assessment of transcriptional activation of the estrogen and androgen receptors of mosquitofish, <i>Gambusia affinis affinis</i> . Molecular and Cellular Endocrinology 276 (1-2), 10-17. 2007
21	Comparison of estrogen responsive genes in the mouse uterus, vagina and mammary gland. Journal of Veterinary Medical Science 69 (7), 725-731. 2007
22	Functional associations between two estrogen receptors, environmental estrogens, and sexual disruption in the roach (<i>Rutilus rutilus</i>). Environmental Science & Technology 41 (9), 3368-3374. 2007
23	Gene expression change in the Müllerian duct of the mouse fetus exposed to diethylstilbestrol in utero. Experimental Biology and Medicine 232 (4), 503-514. 2007
24	Developmental reproductive effects of exposure to pharmaceutical steroids in the aquatic environment: Studies on mosquitofish (<i>Gambusia affinis affinis</i>), roach (<i>Rutilus rutilus</i>) and medaka (<i>Oryzias latipes</i>). Journal of Marine Science and Technology-Taiwan 15, 29-36. 2007
25	Medaka (<i>Oryzias latipes</i>) for use in evaluating developmental effects of endocrine active chemicals with special reference to gonadal intersex (testis-ova). Environmental Sciences: an international journal of environmental physiology and toxicology. 14 (5), 211-233. 2007
26	Molecular cloning of estrogen receptor alpha (ERalpha; ESR1) of the Japanese giant salamander, <i>Andrias japonicus</i> . Molecular and Cellular Endocrinology 257-8, 84-94. 2006
27	Development of metamorphosis assay using <i>Silurana tropicalis</i> for the detection of thyroid system-disrupting chemicals. Ecotoxicology and Environmental Safety 64 (3), 281-7. 2006
28	All ZZ male <i>Xenopus laevis</i> provides a clear sex-reversal test for feminizing endocrine disruptors. Ecotoxicology and Environmental Safety 63 (2), 236-243. 2006
29	Availability of in vitro vitellogenin assay for screening of estrogenic and anti-estrogenic activities of environmental chemicals. Environmental Sciences: an international journal of environmental physiology and toxicology. 13 (3), 161-183. 2006
30	Effects of an androgenic growth promoter 17beta-trenbolone on masculinization of Mosquitofish (<i>Gambusia affinis affinis</i>). General and Comparative Endocrinology 143 (2), 151-160. 2005
31	Cloning and characterization of estrogen receptor alpha in mummichog, <i>Fundulus heteroclitus</i> . Molecular and Cellular Endocrinology 203 (1-2), 41-50. 2003
32	Early estrogen exposure induces abnormal development of <i>Fundulus heteroclitus</i> . Journal of Experimental Zoology 293 (7), 693-702. 2002
33	Development and application of an effective detection method for fish plasma vitellogenin induced by environmental estrogens. Bioscience Biotechnology and Biochemistry 62 (6), 1196-1200. 1998
34	Apoptosis in adult mouse testis induced by experimental cryptorchidism. Acta Anatomica 157, (3), 195-204. 1996

食物栄養学科 講師 修士（栄養学）

カ ト ウ マ コ ト

加藤 亮

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会、日本公衆衛生学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 栄養指導、栄養教育、公衆栄養学

これまでの研究

- 1 地域における栄養教育プログラムの開発
- 2 個別栄養指導のシステム化、効率化に関する研究
- 3 産後の母親のやせ願望と健康観に関する研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 栄養教育ツールの開発
ICタグとフードモデルを組み合わせた栄養指導ツールの開発、評価
- 2 地域における新しい保健プログラムの開発
身体活動と食事を組み合わせたプログラムの開発、評価

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 生活習慣病予防
- 2 栄養教育、栄養指導
- 3 地域保健事業の評価
- 4 身体活動量の評価

キ ー ワ ー ド ： 栄養指導、栄養教育、栄養教育ツール、予防、身体活動量

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 『公衆栄養学に必要な統計』
（公衆栄養学（分担執筆） NEXT栄養科学シリーズ講談社サイエンティフィク 2004・2005年）

2	『特集日本人の食事摂取基準（2005年版） 高齢者』（臨床栄養Vol.106 No.1（分担執筆） 医歯薬出版 2005年）
[論文]	
1	こどもの身体活動量をふやすためにはどうしたらよいか 日常生活における身体活動量の日内変動について（会津大学短期大学部研究紀要 2021年）
2	勤労者（男性）における職場業務内容と体組成、栄養素摂取量、身体活動量の関係について（会津大学短期大学部研究紀要 2019年）
3	妊娠時肥満を含む母親に対する栄養指導の有効性に関する研究（『栄養日本』第48巻 2005年）

食物栄養学科 講師 短期大学士

コ バ ヤ シ

$$= \neq$$

小林 未希

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本給食経営管理学会、日本災害食学会

●専門分野とこれまでの研究

專 門 分 野：給食經營管理

これまでの研究

- 1 家庭調理における大豆の放射性セシウムの除去に関する研究
- 2 家庭調理におけるローリングストック法に関する研究
- 3 県内産米粉の利活用法について
- 4 そば表層粉利用の焼き菓子の検討と食味に及ぼす影響について

●現在の研究テーマおよび概要

- トレハロースの大量調理への導入の検討について。トレハロースは、澱粉の老化・たんぱく質凝固・脂質の酸化および褐変等の抑制効果が高いことから、大量調理工程においてトレハロースを添加することにより、料理の品質向上の実現を目指している。
- 大麦の効果的摂取による腸内環境改善の検討について。食物繊維の摂取量増大に向けた大麦の効果的な摂取方法を探り、さらに、習慣的な食物繊維の摂取とメンタルヘルスの関連性について研究している。

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 食生活
- 2 腸から健康を考える
- 3 災害時の食と備蓄
- 4 パッククッキング
- 5 衛生管理
- 6 大量調理

キ ー ワ ー ド ： 食生活、腸活、災害食	
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[論文]	
1	大豆の家庭調理による放射性セシウム量の低減（小林未希、齋藤文也、日本災害食学会誌, vol.1 No.1, 59-63, 2014)
[社会的活動]	
1	公益社団法人福島県栄養士会 選任手続管理委員会委員長（2022年4月～6月）

食物栄養学科 助手 学士

ア ベ ケ イ コ

阿部 桂子

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本栄養改善学会、日本食生活学会、日本調理科学会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 給食管理
これまでの研究
1 効果的な減塩普及の取り組みについて
2 会津伝統食材オタネニンジンや小菊かぼちゃを使用した機能性と嗜好性に優れたメニュー開発
●現在の研究テーマおよび概要
1 全国で広がるオーガニック給食についての研究 給食を通じた地域づくりについて実践の試み
2 食品ロスと環境問題について
3 会津伝統食材を使用した機能性と嗜好性に優れたメニュー開発
●相談に応じられる分野・キーワード
1 離乳食に関すること
2 親子料理教室
3 オーガニック給食
4 食育活動
キ ー ワ ー ド ： 離乳食、親子料理教室、オーガニック給食、食品ロス
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）
〔 社会的活動 〕
1 喜多方市食育推進委員会委員（2011年～2015年3月）

2	喜多方市勤労青少年ホーム運営委員会委員（2013年～2019年3月）
3	きたかた学校給食を考える会（2020年～）

食物栄養学科 助手 修士（人間文化学）

ミ ズ オ カ ズ マ サ
水尾 和雅

○所属学会・協会 / 日本栄養士会、日本調理科学会、日本家政学会、日本栄養改善学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 調理科学

これまでの研究

- 1 ガス加熱とIH加熱が大根への塩化ナトリウムの浸透およびテクスチャーへ及ぼす影響について
- 2 ベークドチーズケーキの性状と動的粘弾性挙動に及ぼす鶏卵の影響について
- 3 栄養士養成課程における1年次の学習と塩分感受性に関する考察

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 栄養士養成課程における1年次の学習と塩分感受性に関する考察
概要：調理学実習で実施している塩分濃度差識別検査の結果を解析し、授業効果を検討する
- 2 酒米を搗精する際に出る白糠の一般的な焼成菓子類への応用について
概要：白糠の特徴を活かした焼成菓子類の検討や特徴などを明らかとし、有効活用の方法を検討する

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 お菓子作りにおける卵の乳化性について
- 2 簡単な料理教室

キ ー ワ ー ド ： 卵、乳化性、料理教室

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[論文]

- 1 大根の加熱および保存過程がコラーゲン、グリセリド、塩化ナトリウムの浸透および硬さに及ぼす影響（『日本調理科学会誌』44巻、2011年、共著）
- 2 大学教職員を対象とした栄養アセスメントに基づく給食経営管理実習の試み（『日本栄養士会雑誌』54巻、2011年、共著）
- 3 Effects cooking process with giner juice and kiwifruit juice on the collagen and the lipid contents of “Kakuni pork”(『日本調理科学会誌』 44巻 2011，共著）

4	食事摂取基準に示された「美味しく楽しく食べることのできる食事」を理解させるための給食経営管理領域における試み(『日本栄養士会雑誌』 55巻 2012, 共著)
5	Lipid Distribution and Rheological Properties of Creamy Custard Pudding Prepared with EggYolk and Milk Fat Cream(『日本調理科学会誌』 45巻 2012, 共著)
6	豆腐と自然薯を用いた気泡含有製品の創成と嚥下困難者用食品への利用適性 (『日本調理科学会誌』 52巻(3), 176-181, 2019 共著)
7	栄養士養成課程における1年次の学習と塩味感受性の変容－塩分濃度差識別検査結果からの検討－ (『会津大学短期大学部 研究紀要』 第79号, 113－122, 2022 共著)
8	凍り豆腐の調理過程におけるタンパク質の溶出とテクスチャーの関係 (『比治山大学紀要』 第29号,2023 共著)

食物栄養学科 助手 博士（健康科学）

ヤマオカ シン

山岡 伸

○所属学会・協会 / 日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会、日本災害食学会

●専門分野とこれまでの研究

専門分野：生化学、栄養教育、公衆栄養

これまでの研究

- 1 ストレスと栄養について
- 2 戦国時代と江戸時代の食事について
- 3 発育初期のクルクミン摂取による腎障害の予防について
- 4 管理栄養士・栄養士の認知度について

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 会津伝統食品の生体への影響や利用方法の検討
- 2 日本食品標準成分表2020年版（八訂）の利用方法の検討
- 3 戦国時代と江戸時代の食事について

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 食成分の生体の影響について(動物実験)
- 2 ストレスの定量化方法
- 3 食事からの栄養価算出
- 4 戦国時代・江戸時代の食事など

キ ー ワ ー ド ： 食成分、動物実験、ストレス、栄養価算出、戦国時代、江戸時代、酸化ストレス

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[論文]	
1	Curcumin intake during lactation suppresses oxidative stress through upregulation of nuclear factor erythroid 2-related factor 2 in the kidneys of fructose-loaded female rat offspring exposed to maternal protein restriction. Birth defects research 115(7), 674-686. 2023
2	救荒食品からみた現代の災害食の改善点について. 日本災害食学会誌 9(1), 49-53. 2022
3	Changes in the frequency of eating out, consuming ready-to-eat meals, and eating at home before and after the spread of COVID-19 among students. World Journal of Advanced Research and Reviews, 13(2) 136-141. 2022
4	Changes in the intake of dietary fibre derived from rice among Japanese people based on the National Health and Nutrition Survey during 2018-2019. Integrative Food, Nutrition and Metabolism 9 1-5. 2022
5	江戸時代の史料からの栄養価の算出方法の検討. 青森保健医療福祉研究, 2(1) 8-12. 2020
6	Lignin-derived low-molecular-weight oxidized lignophenol stimulates AMP-activated protein kinase and suppresses renal inflammation and interstitial fibrosis in high fat diet-fed mice. 318, 108977-108977. 2020
7	Differences in how Nurses and Public Health Nurses Perceive Registered Dietitians and Dietitians in Japan. Journal of Nutrition and Growth, 5(2) 17-19. 2019
8	慢性ストレスがマウス赤血球のグルタチオン代謝に及ぼす影響. 川崎医療福祉学会誌 ,29(1) 81-90. 2019
9	培養細胞を用いた大麦若葉末の炎症性腸疾患抑制作用. 川崎医療福祉学会誌, 27(2) 385-391. 2018年
[社会的活動]	
1	公益社団法人 青森県栄養士会 研究教育職域会 運営委員 (2020～2022)
2	特定非営利活動法人日本栄養改善学会 第 9 回日本栄養改善学会東北支部学術総会事務局 (2022～2023 3月まで)

幼児教育・福祉学科 教授 社会福祉学修士

イ チ カ ワ カ ズ ヒ コ

市川 和彦

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本産業カウンセラー協会、日本社会福祉士会、

日本自閉症スペクトラム学会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 障がい児保育、障がい者福祉論、社会福祉援助技術論
これまでの研究
1 施設内虐待の発生機序と防止に関する研究
2 強度行動障害に対する治療と援助技術に関する研究
3 社会福祉施設における援助者のメンタルヘルスに関する研究
4 社会福祉施設従事者のアンガー・マネジメントに関する研究
●現在の研究テーマおよび概要
1 虐待防止ツールとしての事例検討とロールプレイ、ワークショップに関する研究
2 施設内における援助者に対する他傷・暴力に関する研究
3 知的障害のある方の性的問題に関する研究
4 障害児者との「触れる関わり」「ダンスビック」の実践的研究
●相談に応じられる分野・キーワード
1 施設内虐待の防止と対策に関して
2 施設内暴力（利用児者から援助者に対する）の防止と対策に関して
3 事例検討・ロールプレイの持ち方、進め方に関して
4 重度障がいのある方への非言語的関わり方に関して

5	知的障がい児者・児童の性的問題に関して
キ ー ワ ー ド：施設内虐待、行動障害、怒り、障がい児、障がい者、触れる関わり	
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[著書]	
1	「施設内虐待～なぜ援助者が虐待に走るのか～」誠信書房，2000.
2	「続・施設内虐待～克服への新たな挑戦～」誠信書房，2002.
3	「虐待のない支援～知的障害の理解と関わり合い～」誠信書房，2007.
4	「施設内暴力～利用者からの暴力への理解と対応」誠信書房，2016.
[論文]	
1	「施設内虐待の概念に関する研究～主に施設内体罰の定義と目的についての考察～」和泉短期大学研究紀要，2005.
2	「軽度知的障害者のワークショップの取り組みから～施設内虐待に対する子どもたちによるセルフアドボカシーの可能性～」，日本子ども虐待防止学会，2006.
3	「知的障害者に対する呼称のありかたに関する考察～ちゃん・くん呼びがなぜ不適切なのか～」キリスト教社会福祉学研究，2009.
4	「施設内における援助者の”からかい”についての一考察～対人援助の”誤った家族化”による影響～」和泉短期大学研究紀要，2010.
5	「施設内虐待の防止～虐待に走る援助者の心理過程と自己理解～」矯正協会『刑政』2010.
6	「障害者虐待事例にみる虐待防止法への提言～人間性への挑戦としての虐待防止法～」現代書館『福祉労働』，2010.
7	「保育者・支援者との”触れる関わり”が障がい児者に及ぼす影響～主に自閉症スペクトラム（ASD）における人間関係能力発達の視点から考える各アプローチの包括的理解～」会津大学短期大学部研究紀要第72号，2015.
8	保育者・支援者と障害児者で実施される“触れる関わり”の実際～主に知的障害・自閉症スペクトラム（ASD）児者における人間関係能力の発達を促す技法 会津大学短期大学部研究紀要第73号，2016.
9	幼児教育におけるトライアングル・エフェクト(triangle effect) 視点から考える個別の教育支援計画の可能性～幼稚園における発達障害幼児を対象とした自立に向けての取り組みから～会津大学短期大学部「幼児教育研究」第3号，2017.
10	就学前支援において地域支援センターとして特別支援学校に求められるもの～親の障害受容の過程にどう関わるか～会津大学短期大学部研究紀要第75号，2018.
11	シンクロダンスが、障害児者・援助者相互に及ぼす影響～主に知的障害・自閉症スペクトラム（ASD）における他者との対人相互関係の特徴と変化の視点から～会津大学短期大学部「幼児教育研究」第4号，2018.

[社会的活動]	
1	知的障害者施設「横浜市松風学園」スーパーバイザー
2	知的障害者施設「福生学園」「福生第二学園」スーパーバイザー
3	会津若松市自立支援協議会権利啓発部門委員

幼児教育・福祉学科 教授 教育学修士

カ ク シ ョ ウ ラ ン

郭 小蘭

○所属学会・協会 / 日本保育学会会員、日本発達心理学会会員、日本子ども学会会員

日本赤ちゃん学会会員、日本心理臨床学会会員

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 発達心理学・保育学

これまでの研究

- 1 就学前児をもつ中国の母親の信念－指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係
- 2 中国の子育てと親の持つ価値的背景について
- 3 学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割について
- 4 子育て支援の取り組みの実態－会津地域の事例から
- 5 幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法
- 6 布遊具遊びに見られる幼児の思考力の芽生え
- 7 ごっこ遊びの教材研究の実践例

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 保育の教材研究
- 2 授業研究（学生の保育実践力の向上につながる授業の方法）

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 子育てに関する相談

キ ー ワ ー ド ： 子どもに対する接し方

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 著書 〕	
1	三神廣子・梶田正巳・中野靖彦編著 『新・こどもの心理』 2-4、3-4、4-3、5-1 単著 福村出版株式会社 1996. 54-58、85-88、110-114、130-133
2	棚橋昌子・白石淑江編著『親と子のメンタルヘルス』 5-1、5-2 単著 中央法規出版株式会社 1997. 133-142、143-163
3	小嶋秀夫・河合優年編 『児童心理学』 第8章 単著 近畿大学豊岡短期大学発行 1991.73-78
4	岸井勇雄監修 上野恭裕編著 『おもしろく簡潔に学ぶ保育内容総論』 4-3 単著 保育出版社 2008. 59-62
5	咲間まり子編著 『コンパス 乳児保育』 4-2 4-3 単著 建帛社 2018年2月. 41-45
6	福島県保育者養成校連絡会編 『保育実習の手引き』 2020年4月
〔 論文 〕	
1	就学前児をもつ中国の母親の信念―指導法に関する母親の信念、行動及び子どもの表象的思考力の関係 単著 1991. 発達心理学研究第2巻、第2号、60-69
2	父娘関係、父親像と娘からみた父親の魅力 共著 南山大学『アカデミア』 人文・社会科学編 第61号 1995. 195-227
3	日本と中国の大学生のストレスとその対処行動 共著 東京学芸大学紀要、第一部門教育科学 第47集 1996. 7-15
4	中国の子育てと親の持つ価値的背景について - 99年度面接調査からの予備的分析 共著 平成10-12年度 科 学研究費補助金 基盤研究 (A)(2) (海外) 研究成果報告書 2001. 117-134
5	学校臨床におけるスクールカウンセラーの役割 - 女子中学生のリストカット事例からみた学校システムに対す る支援について 共著 会津大学短期大学部研究年報 第63号 2006. 83-91
6	子育て支援の取り組みの実態 - 会津地域の事例から 単著 『福島県における子育て・子育て支援に関する調 査研究』 報告書 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 2008. 129-136
7	不登校生徒をもつ母親の面接過程 - 接し方を巡る母親の葛藤 単著 会津大学短期大学部研究年報 第66号 2009
8	不登校生徒を抱える母親への支援―第三者の視点に立ち、わが子の心理を理解することへのアプローチ 単著 会津大学短期大学部研究年報 第67号 2010
9	学生の保育実践力を高めるゼミ研究の教学效果についての考察―幼児向け布絵本制作実践例 単著 会津大学 短期大学部研究年報 第72号 2015
10	布玩具魚つり遊びに見られる幼児の発達段階の違いと効果的な指導法について 単著 会津大学短期大学部研 究紀要 第73号 2016
11	幼児教育現場の教材から見た幼児の遊びの指導法 単著 会津大学短期大学部研究紀要 第73号 2016
12	自由遊びにおける保育者の指導法に関する実践研究―倉橋惣三「保育法の原則」の視点からの分析 単著 会 津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第3号 2017
13	布遊具遊びに見られる幼児の思考力の芽生え 単著 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第3号 2017

14	5歳幼児の対話と協同的学びを引き出す教材研究の実践例 単著 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第5号 2018
15	簡単に楽しい遊びが広がる手作り遊具—おひさま保育園の遊具研究の取り組みからの考察— 共著 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究 第9号 2023
[社会的活動]	
1	福島県保育者養成校連絡会研究部会委員(2005年4月～現在)
2	会津学鳳中学校高等学校の学校評議員 (H19.4からH25.3)
3	会津若松市男女共同参画審議会委員 (H17.5-H18.4).
4	放課後児童支援員認定資格研修講師(2015年11月～2019年)
5	会津若松市湊しらとり保育園指定管理者候補者選定委員会委員(2016年4月～2017年3月。2020年4月～2021年3月)
6	派遣講座「個別育児相談」(認定こども園若松第二幼稚園 星の子ランド主催 2016年～2019年)
7	福島民報主催「みんぼう愛・会カフェin会津」(2017年3月11日)
8	福島民報主催「みんぼう愛・会カフェin会津坂下」(2017年7月15日)
9	会津若松市子ども・子育て会議の委員(2017年－現在)
10	「平成30年度全国保育士養成協議会東北ブロックセミナー 郡山大会」当番校事務局幹事(2018年11月24日・25日)
11	福島県社協 福島県福祉人材センター運営委員会委員(2018年4月～2021年3月)
12	福島県社協 福祉研修事業運営委員会委員(2018年4月～2021年3月)
13	小野町認定こども園整備運営事業者選定審査委員会委員(令和元年)
14	平成30年度福島県委託事業 保育園長・認定こども園長・主任保育士・主幹保育教諭等特別研修会講師(2019年12月5日)
15	「すくすく園」主催 保育士研修会講師(2021年2月13日)
16	派遣講座 「子どもの発達と保育に関すること」 光南高校2年生対象 2023年1月31日

幼児教育・福祉学科 教授 芸術学修士

カ ワ ラ ダ ジュン
河原田 潤

○所属学会・協会 / 日本保育学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 幼児音楽、器楽合奏全般、オーケストラ・室内楽奏法（コントラバス）

これまでの研究

- 1 保育現場で必要とされている楽器の取り扱い方とその演奏法について
- 2 保育者に必要とされる音楽理論
- 3 音楽を通じた子どもとの関わり方について
- 4 専門分野（コントラバス奏者）での演奏活動

●現在の研究テーマおよび概要

基礎的・基本的な音楽理論と技術の習得について

- 1 保育者をめざす、「音楽」が苦手な学生に対して、いかに「音楽」に親しみ、楽しむことが出来るかを共に考え、興味や関心を持てるような指導の仕方に取り組んでいます。
保育現場で扱われる楽器を使った合奏について
- 2 楽器は「道具」であることを、子どものみならず保育者も知ることによって、楽器に対する正しい知識を身に付け、自分で出す音に新しい発見があったり感動する気持ちを持ってもらいたいと思っています。
専門分野（コントラバス奏者）での演奏活動について
- 3 これまで培ってきた演奏現場での経験、知識から、さらに充実した演奏活動を行い、内容を深めようと考えています。

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 幼児の音楽
- 2 保育者に必要とされる音楽理論
- 3 室内楽・オーケストラの指導
- 4 独奏・室内楽・オーケストラでの演奏

キ ー ワ ー ド ： 音楽、音楽理論、合奏

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 論文 〕	
1	幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 ー保育実習アンケートによる幼児音楽についてー 常葉学園短期大学紀要 第38号 単著、2007、P.103－112
2	幼児保育現場で取り上げられる「子どもの歌」と考察 2 ー保育実習アンケートによる幼児音楽についてー 常葉学園短期大学紀要 第39号 単著、2008、P.49-57
3	保育現場で使用される楽器の基本的な取り扱い方と、子どもへの働きかけについて 常葉学園短期大学紀要 第41号 単著、2010、P.91-100
4	保育士養成系に学ぶ学生のピアノ力の現状と、それに伴う問題と課題について考える ー本学学生の実態を基にしてー 常葉学園短期大学紀要 第43号 単著、2012、P.115-122
5	保育士・幼稚園教諭養成系における「音楽理論」の必要性と授業展開についての一考察 常葉大学短期大学部紀要 第46号 単著、2015、P.129-138
6	幼児期における楽器を使用した音楽表現の指導法についての一考察 -「鍵盤ハーモニカ」の基礎的・基本的な扱い方を通して- 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究第3号 単著、2017、P.1～P.12
7	教職コアカリキュラムと領域「音楽表現」～幼児教育に関する音楽～ 会津大学短期大学部幼児教育学科幼児教育研究第5号 単著、2018、P.11～P.17
〔 社会的活動 〕	
1	全国保育士養成協議会関東ブロック実行委員として、全国保育士養成セミナー第49回研究大会（平成22年9月15～17日）実行委員（H.21.5.1-H.23.3.31）
2	幼稚園教諭対象教員免許更新講習における、表現系音楽講師（常葉大学短期大学部主催 平成23年度～平成27年度）
3	職業音楽家（コントラバス）として、室内楽・プロオーケストラへのエキストラ出演等の演奏活動（現在も継続）
4	室内楽・オーケストラ・吹奏楽（パートを含む）の指導活動（現在も継続）

幼児教育・福祉学科 教授 文学修士

ワカバヤシ タツジ

若林 達司

○所属学会・協会 / 中世英文学会、日本英文学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 中世イギリス文学、英語圏の文学

これまでの研究

- 1 中世イギリス文学
- 2 Geoffrey Chaucer研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 中世イギリス文学
- 2 Geoffrey Chaucer研究
- 3 1950年代、戦後イギリス社会研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 英語文学
- 2 英語教育（英語発音、英文法、英文読解）
- 3 イギリス社会

キ ー ワ ー ド ： 英語、文学、教育、発音、文法、読解、イギリス社会

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 『インターナショナル日本語英語新辞典』 実教出版 平成6年6月 共著
- 2 『概説イギリスの文学』 桐原書店 平成7年1月 共訳

〔 論文 〕	
1	『The Parlement of foulesにおけるGoddessNatureについて』 静岡英和女学院短期大学紀要30号 静岡英和女学院短期大学 平成10年2月
2	『チョーサーにおける「権威」と「経験」：バースの女房と結婚談義を中心に』 静岡英和学院大学紀要4号 静岡英和学院大学 平成19年2月
3	『イギリス東部を襲った1953年North Sea Flood 異文化理解の糸口として（1953 North Sea Flood - A Clue to Cross Cultural Understanding）』 『新教職課程を構成する科目の内容編成に関する総合的研究』 静岡英和学院大学 平成30年2月 静岡英和学院大学共同研究助成金
4	『ロンドンの「霧」をめぐって（1）文化的、歴史的考察』、会津大学短期大学部研究紀要 第77号（2020）
〔 社会的活動 〕	
1	『英語ワンポイント講座』 静岡英和女学院短期大学公開講座 静岡英和女学院短期大学 平成12年6月
2	『公開講座番外編 英語連続講座』 静岡英和学院大学公開講座 静岡英和学院大学 平成21年6月 公開講座の本テーマとは別に連続講座を4回開講
3	『「夢」で読み解くヨーロッパ古典文学』 静岡英和学院大学公開講座 静岡英和学院大学 平成25年10月
4	「英語発音のレベルアップ！リスニングは怖くない！」会津大学短期大学部公開講座2019年 9 月
5	「英語発音のブラッシュアップ！！」会津大学短期大学部公開講座2020年 9 月
6	「英語発音のグレードアップ～つながる音の練習」会津大学短期大学部公開講座2021年 9 月
7	「リンカーン大統領の名演説で発音トレーニング」会津大学短期大学部公開講座2022年 9 月

幼児教育・福祉学科 准教授 修士（コミュニティ福祉学）

キ ム ラ ジ ャ ャ
木村 淳也

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本保育ソーシャルワーク学会、
日本学校ソーシャルワーク学会、日本介護福祉学会、日本社会福祉士会、
福島県スクールソーシャルワーカー協会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 社会福祉学 ソーシャルワーク

これまでの研究

- 1 福祉施設における不適切な援助関係に関する研究
- 2 東日本大震災後の援助者支援に関する実践研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 スクールソーシャルワークに関する実践研究

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 施設における援助者支援
- 2 地域における援助者支援

キ ー ワ ー ド ： 援助関係、ソーシャルワーク・スーパービジョン、連携、協働

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 「ソーシャルワーク論:理論と方法の基礎」、ミネルヴァ書房、2021、共編著.
- 2 『福島の子どもたち』、かもがわ出版、2021年、共著.
- 3 「ソーシャルワーカーのソダチ」、生活書院、2017、共著.

〔 論文 〕	
1	「スクールソーシャルワーカーに対するスーパービジョン実践の課題と考察」 会津大学短期大学部研究紀要 第76号、2019、単著.
2	「グループ・スーパービジョンにおけるスーパーバイザーの役割と課題－社会福祉協議会における職場内研修の実践から－」会津大学短期大学部研究紀要 第72号、2016、単著.
3	「災害における保育ソーシャルワークの可能性を探る」日本保育ソーシャルワーク学会第4回研究大会要旨集 80-84、2017.
〔 社会的活動 〕	
1	福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー
2	福島県教育委員会 生徒指導アドバイザー
3	郡山市教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー
4	本宮市教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー
5	南会津町教育委員会 スクールソーシャルワーカー スーパーバイザー

幼児教育・福祉学科 講師 博士(保健福祉学)

ヨ シ ダ ア ヤ
吉田 亜矢

○所属学会・協会 / 日本保育学会 日本家族研究・家族療法学会 日本比較文化学会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 幼児教育学 保育相談 子育て支援
これまでの研究
1 幼児の社会的スキルの発達に関する研究
2 保育者のストレスに関する研究
3 乳幼児の発達に関する研究
4 乳幼児をもつ母親に関する研究
●現在の研究テーマおよび概要
1 乳幼児の発達に関する研究
2 母親の対人的行動特性に関する研究
3 子育て支援に関する研究
4 保育者や母親の精神的健康に関する研究
●相談に応じられる分野・キーワード
1 乳幼児の発達・関わり方
2 子育て支援・保育に関する相談・援助
3 幼児教育・保育に関する心理学
4 カウンセリングスキルを活用した関わり方
キ ー ワ ー ド ： 子育て支援、保育相談、発達相談

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
〔 著書 〕	
1	「保育内容人間関係」（共著） 大学図書 2015
2	「エピソードから楽しく学ぼう 子ども理解と支援」（共著） 創成社 2014
〔 論文 〕	
1	幼児期の発達と就園 –A県B市の幼保連携型認定こども園を事例として– 会津大学短期大学部研究紀要 第78号 pp.83-93 2021
2	保育者による子育て支援に関する一考察 –母親の対人行動特性と個人特性の関連について焦点を当てて– 会津大学短期大学部幼児教育学科紀要 第7号 pp.1-8 2020
3	子育て環境が母親に与える影響に関する一考察 東京純心大学紀要 現代文化学部 第21号 pp.31-39 2017
4	母親の気分状態と幼児期の子どもの社会的スキルとの関連 東京純心大学紀要 現代文化学部 第20号 pp.39-46 2016
5	祖父母の子育て支援と孫の社会的スキルの発達および祖父母の精神的健康(気分状態)との関連 比較文化研究 第113号 pp.263-272 2014
6	家族機能が幼児の社会的スキルに及ぼす影響 高崎健康福祉大学総合福祉研究所紀要 第11巻 第1号 pp.15-25 2014
7	幼児の社会的スキルに関する文献的展望 高崎健康福祉大学 総合福祉研究所紀要 第10巻 第1号 pp.1-20 2013
8	保育者のストレスに関する文献的展望–その2–保育者のストレスに影響する諸要因 高崎健康福祉大学 総合福祉研究所紀要 第8巻 第2号 pp.1-13 2012
9	保育者のストレスに関する文献的展望–その1–保育者のストレスの研究動向 高崎健康福祉大学 総合健康福祉研究所紀要 第8巻 第1号 pp.17-25 2011
〔 社会的活動 〕	
1	福島県スクールカウンセラー(2018～)
2	会津坂下町健やかに子どもが育つ環境づくり協議会委員(2021～2022)
3	福島県保育士等キャリアアップ研修【保護者支援・子育て支援】講師(2021～)
4	会津若松市保育士研修会講師(2021)
5	両沼保育協議会保育支部会研修会講師(2022)
6	福島県社会福祉審議会委員(2023～)
7	福島県保健福祉部指定管理者選定検討会委員(2023～)

幼児教育・福祉学科 講師 体育学修士

ワ タ ナ ベ タ ク ヤ

渡部 琢也

○所属学会・協会 / 日本体育学会、日本体力医学会、日本教育医学会、東海体育学会、日本運動生理学会、
日本発育発達学会、標準化研究学会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： 発育発達学、運動生理学、トレーニング科学
これまでの研究
1 四足動物における歩行中の外乱に対する適応
2 ヒトにおける歩行中の外乱に対する適応
3 幼児期における身体組成と体力に関する研究
4 児童期における体力に関する研究
5 高齢期における体力に関する研究
6 大学競技スポーツにおける実践的トレーニング
●現在の研究テーマおよび概要
1 幼児期における体力に関する研究
2 児童期における体力に関する研究
3 子どもにおける体組成に関する研究
4 高齢期における体力に関する研究
5 高齢者における体組成とサルコペニアに関する研究
●相談に応じられる分野・キーワード
1 児童と体力、運動能力

2	幼児と体力、運動能力
3	高齢期における体力と運動について
4	競技スポーツにおけるトレーニングについて
5	高齢期における体組成とサルコペニア
キ ー ワ ー ド : 体力、体格・運動能力、幼児、児童、高齢者、競技スポーツ、発育発達、体組成、サルコペニア	
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[著 書]	
1	「新運動生理学（上巻）歩行運動」真興交易株式会社医書出版部、2001.
2	「21世紀の生活福祉・援助分析論」大学図書出版、2008.
[論 文]	
1	幼児における身体組成と運動能力の相関構図の加齢変化に関する検証,教育医学56,2011
2	幼児の生活リズムと生活習慣に関する年次比較,子ども学研究論集4,2012
3	介護福祉職教育における介護予防運動指導員,名古屋経営短期大学紀要54,2013
4	体育科教育における体づくり運動の現状について,名古屋経営短期大学紀要55,2014
5	体育科教育における体づくり運動授業の質向上のための講習会の効果についての検討,子ども学研究論集6,2014
6	Confirmation of motor performance Classified by Fatty-Slim Judgment derived From Regression Evaluation of Weight against Height in Preschool Children,The Korean Journal of Physical Education.53, 2014
7	会津大学短期大学部社会福祉学科保育士養成課程在籍学生の幼稚園教諭免許の必要性和特例制度に関する調査,会津大学短期大学部研究紀要,第72号,2015
8	体育科教育における体づくり運動への取り組みの認識と実施状況,愛知大学体育学論叢21,2015
9	2015年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力,会津大学短期大学部研究紀要 第73号,2016
10	大学生の身体的経年変化から判断される東日本大震災の影響の有無,教育医学,61,2016
11	小学校における「体づくり運動」の状況：教員の意識調査を通して、子ども学研究論集（8）5-20、2016

	Establishment of Physical Growth Evaluations for Schoolchildren in Disaster Environments -
12	Construction of body fatness tracking evaluation chart-、The International Council for Health, Physical Education, Recreation, Sport and Dance 8 41-46、2016
13	2016年度会津大学短期大学部運動技術履修者の体力、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017
14	高齢者における体組成測定の有効性について、会津大学短期大学部研究紀要 第74号、2017
15	高度経済成長と福島原発事故による生物学的パラメーターのリスク分析 生産管理 24 2017
16	福島原発事故による身体発育へのリスク分析－肥瘦度のトラッキング評価に基づく解析－ 生産管理 26 2019
17	Risk analysis of physique development in the Great Hanshin-Awaji Earthquake — Analysis from secular trends in age at maximum peak velocity for physique — International Journal of Japan Society for Production Management 7 2019
18	介護予防における体組成測定の有用性の検討、会津大学短期大学部研究紀要 第77号、2020
[その他]	
1	小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動（遊び）、愛知県教育委員会、2011
2	子どもの体力向上運動プログラム 多様な動きを作る運動（遊び）（小学校低学年・中学年 全36種目）D V D、愛知県教育委員会、2011
3	報告書Ⅰ 愛知県における幼児の体格・運動能力に関する年代変化（1969年～2009年調査）、子どもの発育発達研究会、2011
4	報告書Ⅱ 愛知県における幼児の生活リズム・生活行動・遊び環境の実態（2009年調査）、子どもの発育発達研究会、2011
5	小学校低学年・中学年向け 多様な動きを作る運動（遊び）「活用事例集」、愛知県教育委員会、2013
6	活用事例集を活かした「指導案例」、愛知県教育委員会、2013
7	学校体育における運動遊び、子どもと発育発達Vol11 No.2、2013
8	平成25年度子どもの体力向上運動プログラム「小学校高学年向け」、愛知県教育委員会、2014
9	健康づくりに取り組むために、ゆう＆ゆう、2014
10	運動が苦手な子への教育および支援のポイント、健康教室2014年12月号、2014
11	会津の伝承遊び、子どもと発育発達Vol12、2015
[社会的活動]	
1	新城市教育委員会 文部科学省「子どもの体力向上実践事業」実行委員会委員（平成19年3月まで）

2	豊橋市生涯スポーツ推進市民会議委員（平成26年3月まで）
3	新城市教育委員会 文部科学省「運動部活動活性化推進事業」調査研究協力者会議委員（平成22年3月まで）
4	愛知県教育委員会 体育スポーツ実践講座 講師（平成26年3月まで）
5	愛知県教育委員会 子どもの体力向上支援委員会委員（平成26年3月まで）
6	会津若松市障がい者計画・第4期障がい者福祉計画策定調整会議委員（平成27年3月まで）
7	会津坂下町健康教育ネットワーク顧問（現在に至る）

幼児教育・福祉学科 講師 修士（社会福祉学）

サ サ キ セ イ ジ
佐々木 誠二

○所属学会・協会 / 日本社会福祉学会、日本子ども虐待防止学会、社会事業史学会、

日本社会福祉士会、日本ソーシャルワーカー協会

●専門分野とこれまでの研究
専 門 分 野 ： ソーシャルワーク、子ども家庭福祉
これまでの研究
1 児童相談所におけるケースワークに関する研究
2 児童虐待防止に関する研究
●現在の研究テーマおよび概要
1 児童相談所の専門性に関する研究
2 児童相談所のケースワークに関する研究
●相談に応じられる分野・キーワード
1 施設における権利擁護
2 施設・組織におけるチームアプローチ
キ ー ワ ー ド ： ソーシャルワーク、チームアプローチ、権利擁護、多機関連携
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）
[著 書]
1 社団法人社会福祉士会・社団法人日本医療社会事業協会編（2009）『保健医療ソーシャルワーク実践1』、中央法規、46-59（翻訳）
2 佐久間美智雄・坂本健編著（2021）『保育の基礎を学ぶ2実践に活かす子ども家庭福祉』、ミネルヴァ書房、152-169（共著）

〔 論文 〕	
1	「児童虐待通告制度における罰則規定の考察」、『ソーシャルワーカー』8号（ソーシャルワーカー協会）、88-94、2004（単著）
2	「宮城県中央児童相談所草創期におけるアリス・キャロルの指導とケースワーク」、『東北の社会福祉研究』18号、7-22、2022（単著）

幼児教育・福祉学科 講師 教育学修士

ハ ヤ マ リ ヨ ウ ゾ ウ

葉山 亮三

○所属学会・協会 / 日本美術教育学会、日本基礎造形学会、大学美術教育学会、日本保育学会、

ものづくり教育会議

●専門分野とこれまでの研究

專 門 分 野：造形教育

これまでの研究

- 1 こどもを対象とした造形教育の教材研究
- 2 造形活動における意欲喚起の方法
- 3 作品制作による表現、及び素材研究

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 リピーテーションを用いた造形教育の指導法
- 2 場の特性、地産を活用した造形表現
- 3 素材の原体験を活用した表現方法

●相談に応じられる分野・キーワード

- 2 絵画、造形表現のワークショップ

キ ー ワ ー ド : 造形教育、ワークショップ

●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）

[著書]

- 1 「図画工作・基礎造形－美術教育の内容－」 建帛社 2016 共著

[論文]	
1	造形教育における意欲の喚起・リズム 愛知教育大学大学院修士論文 2007
2	感性・創造の授業実践報告－様々な素材体験が培う感じて考える力－ 共著 愛知教育大学紀要 2015
3	教育実習に向けた図画工作科研究－素材、技法、幼児への理解－ 会津大学短期大学部 幼児教育研究 第2号 2016
4	幼児・児童の構成表現とその指導法 会津大学短期大学部研究紀要 第74号 2016
5	地域、環境を結ぶ造形表現 －小さな黄色い手紙プロジェクト実践報告－ 会津大学短期大学部 幼児教育研究4号 2018
6	造形活動としての多面体を活用した秘密基地作りの展開 会津大学短期大学部幼児教育学科研究紀要 第9号 2023
[社会的活動]	
1	会津若松市地域学校協働事業部 評価・検証委員会 委員 (2017年4月-現在)

幼児教育・福祉学科 講師 修士（教育学）

タ カ タ マ サ ヤ
高田 正哉

○所属学会・協会 / 日本デューイ学会、教育哲学会

●専門分野とこれまでの研究

専 門 分 野 ： 教育学、教育思想史、教育哲学、アメリカ教育思想史、教育学研究法

これまでの研究

- 1 プラグマティズム
- 2 シカゴ学派の思想史
- 3 教育学研究法の思想的理解

●現在の研究テーマおよび概要

- 1 シカゴ学派社会学のプラグマティズムとの関係と相互作用
- 2 ジェイムズ・W・ケアリーのプラグマティズム
- 3 アメリカのカルチュラル・スタディーズの歴史
- 4 プラグマティズムによるカルチュラル・スタディーズの再構築
- 5 コミュニケーションとしての哲学対話の可能性
- 6 カルチュラル・スタディーズにおける大学論

●相談に応じられる分野・キーワード

- 1 教育思想史・教育哲学
- 2 メディア論
- 3 カルチュラル・スタディーズ
- 4 ICT教育支援

5	アクティブ・ラーニング
6	哲学対話
キ ー ワ ー ド ： 教育学、哲学、教育哲学、メディア論、カルチュラル・スタディーズ	
●主な業績（著書・論文・特許・社会的活動等情報）	
[論文]	
1	「A・ストラウスはミルズ動機論をどのように発展させたか：他者によるアイデンティティ変容の理論へ向けて」、『日本デューイ学会紀要第』58号、35－44頁。
2	「デンジンの「社会的想像力」のポストモダン社会における意義：「生きられた経験」からの公共性の再構築に向けて」、『日本デューイ学会紀要』第57号、33－42頁。
3	「参加型アクションリサーチは、なぜ求められるのか：質的調査の道徳的基準をめぐって」、『上田女子短期大学紀要』44号、21－30頁。
他多数	
[社会的活動]	
1	上田市社会教育委員会（2020年～2022年）
2	磐梯町学習環境コーディネーター（2021年度）
3	上田市「信州上田学」コーディネーター（2020年度、2021年度）
4	会津若松市社会教育委員（2023年～現在に至る）

会津大学短期大学部地域活性化センター

〒965-8570 会津若松市一箕町大字八幡字門田 1-1

TEL : 0242-23-7034 FAX : 0242-37-2412

e-mail : chiiki@jc.u-aizu.ac.jp

<https://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

